

令和7(2025)年度版
内容解説資料

「教科書発行者行動規範」に
則った資料です。



中学校社会科Web
もご覧ください。

文部科学省検定済教科書
46 帝国
地図046-72
中学校社会科用

中学校社会科地図

帝国書院編集部編



持続可能な社会の実現に向けて
世界・日本の理解を深められる
地図帳



帝国書院

本資料のもくじ



↑地図帳 p.95

『中学校社会科地図』に込めた想い

著作者代表 奈良教育大学 名誉教授 岩本廣美
帝国書院 編集部

今日、地球上のそれぞれの地域に住む人々は、生活を向上させるために知恵を絞り、努力を積み重ねています。本地図帳は、そうした人々の営みが中学生の皆さんに伝わるように、私たちがこれまで培ってきた地図づくりの技術や知見と、強い想いを込め作成しました。各ページで題材や表現に工夫を凝らし、さらに進化した地図帳が完成しました。

また、地理的分野だけでなく、歴史的分野や公民的分野の学習でも活用できる資料も多く掲載し、社会科における学力向上の土台になるように作成しています。さらに、SDGsの観点から現代社会の課題を考察できる資料や、防災や減災への意識を高める資料、修学旅行や総合的な学習の時間、平和学習などにも活用できるさまざまな資料を掲載しています。

地図帳を通じて知識や見方・考え方を広げ、深めることは、人生を豊かで実りあるものにするということであると確信しています。中学生の皆さんが日本・世界へ視野を広げるときに、その傍らにいつも地図帳があることを願っています。

特色 1 世界と日本の地域的特色が捉えられる地図 3

- 世界への関心を引き出す大迫力の鳥瞰図 3
- 見やすさとわかりやすさを追究した地図表現 7
- 地域間の結びつきがよりわかる大きな紙面 9
- 日本の領域が正しく理解できる地図 13

特色 2 歴史や公民・修学旅行など多目的に活用できる地図 15

- 歴史的分野で活用できる歴史鳥瞰図 15
- 修学旅行や、平和学習に活用できる地図を多数掲載 21
- 歴史的・公民的分野の学習に活用できる工夫 25

特色 3 「持続可能な社会の実現」に向けて考察できる工夫 27

- SDGs について考察できる資料が充実 27
- 自然災害・防災への意識を高められる資料が豊富 31

特色 4 主体的に学べて、資料活用能力が高まる工夫 35

- 地理的技能の基本が身に付けられる「この地図帳の使い方」 35
- 「地理的な見方・考え方」を働かせる問い「地図で発見！」 37
- 地域理解につながる資料が充実 39

特色 5 「個別最適な学び」を支援するコンテンツ 41

- 一人一台端末で活用できるQRコンテンツ 41

特別支援教育への配慮／サポート／特色一覧

さまざまな学習環境に配慮	特別支援教育・インクルーシブ教育への配慮 43
サポート	① 教師用指導書 45
	② デジタル教科書・教材 47
特色一覧	① 教育基本法との対応 49
	② 検討の観点から見た内容の特色 51
	③ 学習指導要領の項目に沿った編集上の特色 54
	④ 資料項目別掲載一覧 55
	『中学校社会科地図』の全体構成(もくじ) 57
	『中学校社会科地図』著作関係者 58

※本資料に掲載している教科書紙面は、見本本と一部内容が異なる場合があります。

世界と日本の地域的特色が捉えられる地図

世界への関心を引き出す大迫力の鳥瞰図 世界の鳥瞰図を例に

大判の紙面を生かし、世界各州の鳥瞰表現の地図を設置しています。
各州の地域的特色を大観し、概略をつかめます。

p.53-54

53 ヨーロッパ州の資料(1)



鳥瞰図

1 ヨーロッパ州をながめてみよう

原寸大

54

Q 地図で発見!

40 ヨーロッパを南北に分ける大きな山脈を探そう。また、その山脈が東西にはしる国を、p.51~52の地図で確認して答えよう。



ポイント



- 地形だけではなく、世界各州の自然環境や生活・文化、歴史、産業などさまざまな特色がより視覚的に読み取れます。
- 小学校からの橋渡しとなるように、親しみやすいイラストを多数掲載しています。
- 鳥瞰図で地域を大観することで、一般図での地域理解をサポートしています。

鳥瞰図設置箇所一覧(世界の6州すべてに設置)

1	p.29-30①	中国とそのまわりをながめてみよう
2	p.47①	アフリカ州をながめてみよう
3	p.53-54①	ヨーロッパ州をながめてみよう
4	p.65-66①	北アメリカ州をながめてみよう
5	p.72①	南アメリカ州をながめてみよう
6	p.79-80①	オセアニア州をながめてみよう



鳥瞰図

ポイント

中国の地形は、西部のチベット高原から東部の長江・黄河下流域に広がる平野まで、西高東低であることが読み取れます。

1 中国とそのまわりをながめてみよう

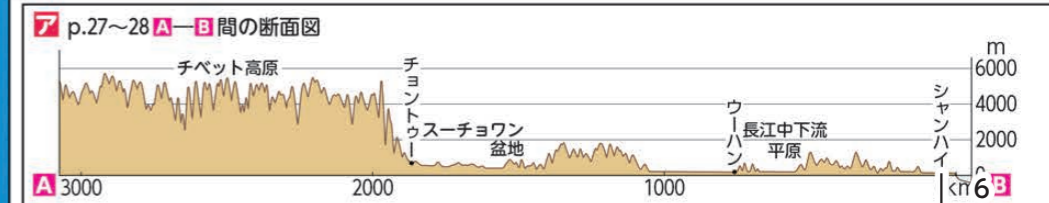
原寸大

アジア州



Q 地図で発見!

18 中国を西から東に横断すると、陸の高さは徐々に高くなるか、それとも低くなるか、**7**図や p.27 ~ 28 ①図に着目して答えよう。

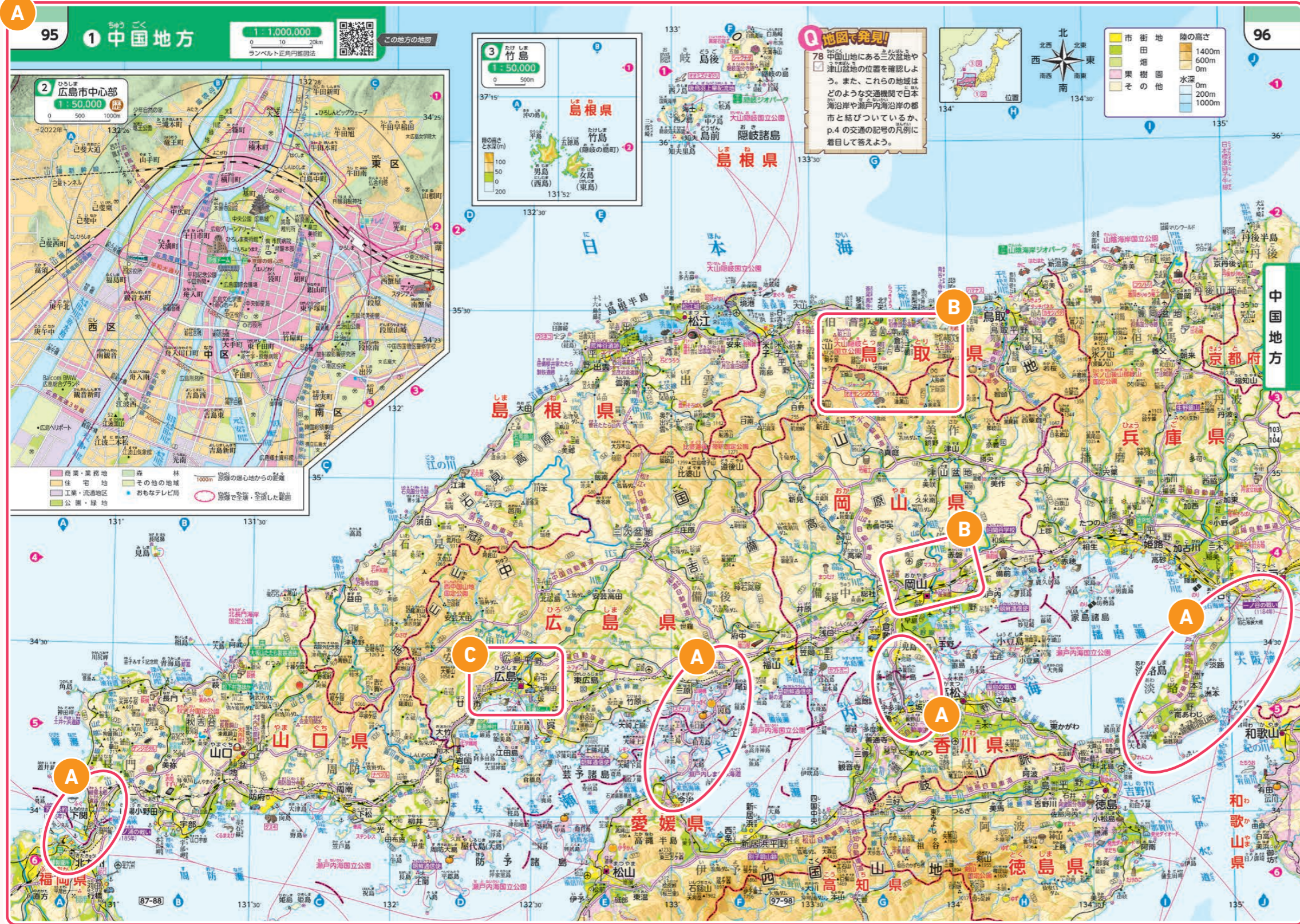


世界と日本の地域的特色が捉えられる地図

見やすさとわかりやすさを追究した地図表現 100万分の1図を例に

日本の地方別地図は縮尺を100万分の1図に統一して、比較しやすくしています。

p.95-96



C 見やすさへの工夫
全編にわたってユニバーサルデザインを採用しています。色や文字の書体・大きさに加えて、絵記号のデザインやレイアウトの統一(タイトル位置を紙面の左上に固定するなど)にも配慮しています。



- ポイント**
- 1 文字は、ユニバーサルデザイン(UD)フォントを使用し、縮尺に応じて情報を精選しています。
 - 2 文字の配置が広範囲にわたる場合は、文字にほかの要素ができるだけ重ならないようにしています。
 - 3 農水産物や伝統的工芸品などの絵記号は、わかりやすいデザインで、大きく示しています。

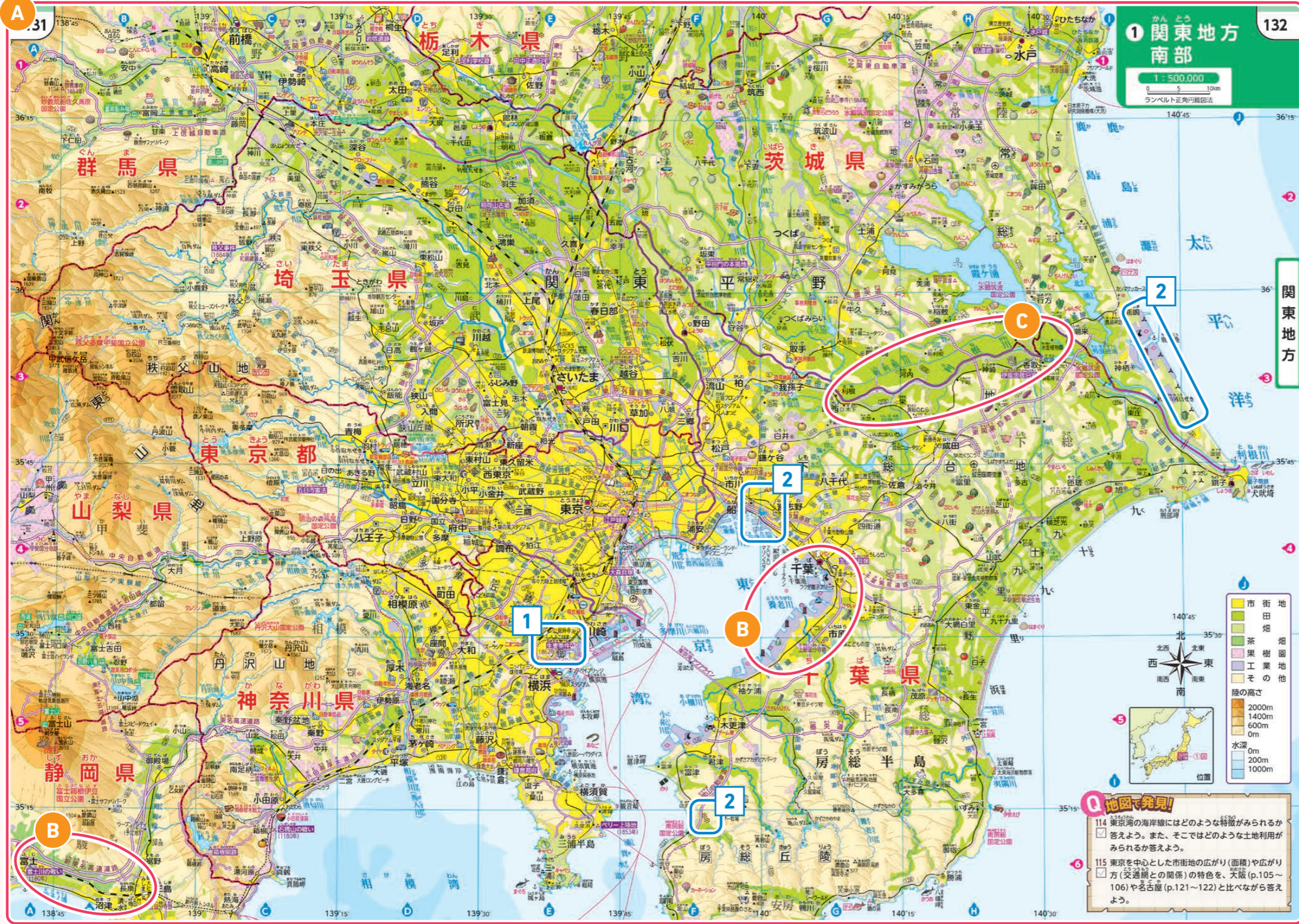


世界と日本の地域的特色が捉えられる地図

地域間の結びつきがよりわかる大きな紙面 50万分の1 図を例に

大都市周辺部を中心に、縮尺50万分の1 図を9か所設置しています。

↓p.131-132

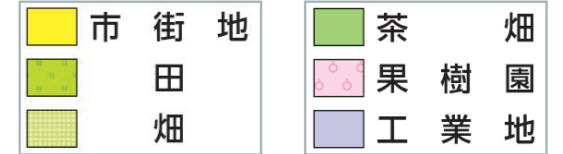


A 大きな紙面を生かした工夫

交通などによる地域間の結びつきや、通勤圏・商圏のように、ある地域を中心にその影響のおよぶ範囲をまとめた「機能地域」が的確に捉えられます。

B 地域的特色が捉えられる地図表現

50万分の1 図では、「茶畑」や「工業地」の土地利用が読み取れるようにしています。日本の地域的特色の理解がより深まる地図表現にしています。



C 見やすさへの工夫

「田」や「畑」を明るく美しい色で表現するために、通常の4色インキに「黄緑色」を加えた5色で印刷しています。また、色味を調整し、従来よりも目にやさしく、見やすい色表現にしています。

ポイント

- 1 重要な歴史地名・事項が充実しています。例) 生麦事件など
- 2 環境や再生可能エネルギーに関する記号が充実しています。例) 風力発電所、太陽光発電所、ラムサール条約登録湿地など

50万分の1 図設置箇所一覧 (政令指定都市をすべてカバー)

1	p.86④	沖縄島
2	p.89-90①	九州地方北部
3	p.99-100①	瀬戸内海周辺
4	p.105-106①	近畿地方中部
5	p.121-122①	中部地方南部
6	p.128③	新潟市とそのまわり
7	p.131-132①	関東地方南部
8	p.145②	仙台市とそのまわり
9	p.150②	札幌市とそのまわり

Q 地図で発見!

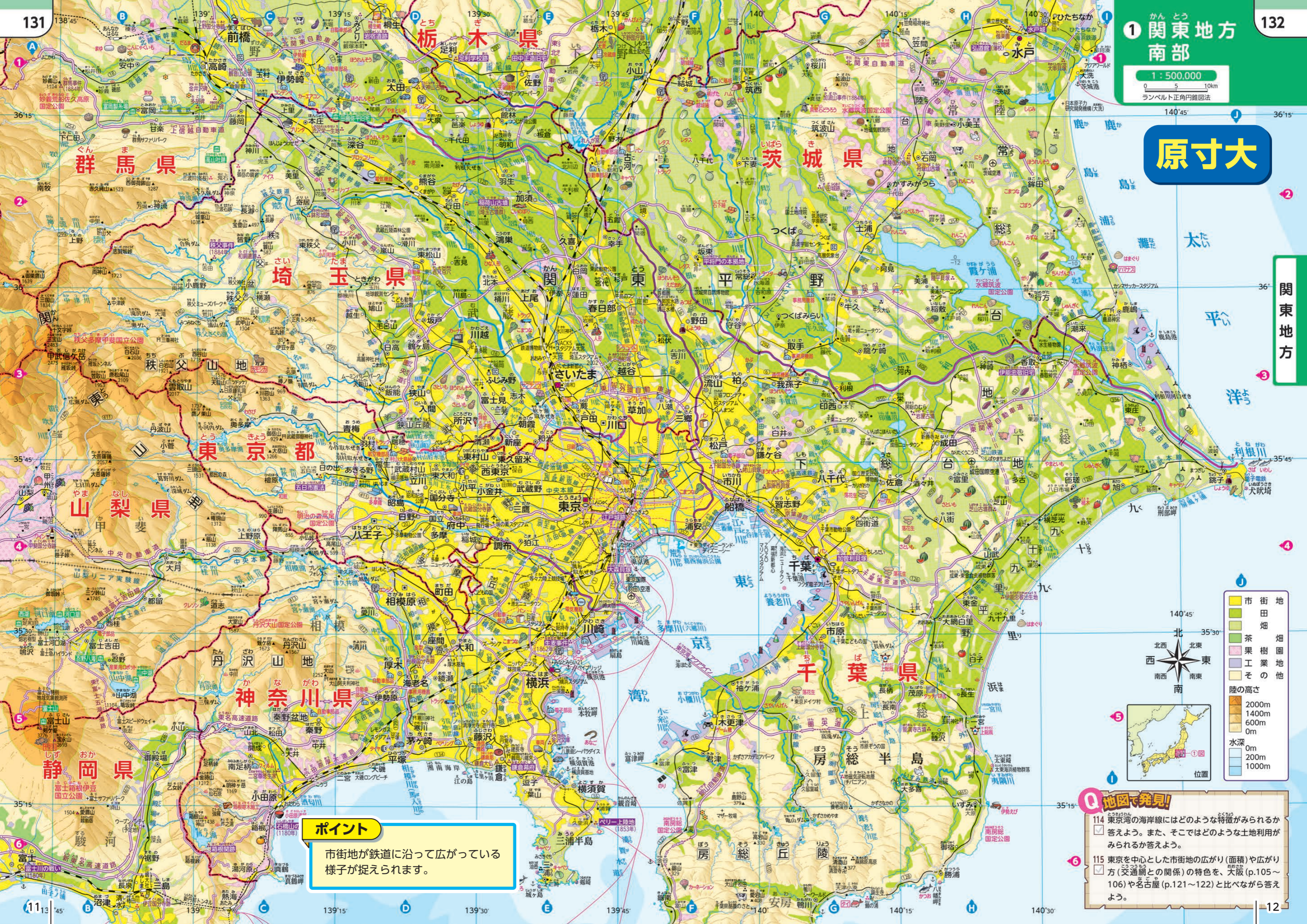
114 東京湾の海岸線にはどのような特徴がみられるか答えよう。また、そこではどのような土地利用がみられるか答えよう。

115 東京を中心とした市街地の広がり(面積)や広がり方(交通網との関係)の特色を、大阪(p.105~106)や名古屋(p.121~122)と比べながら答えよう。

原寸大 本資料p.11-12

原寸大

関東地方



市街地 (Urban area)

田畑 (Agriculture)

茶畑 (Tea plantation)

果樹園 (Fruit orchard)

工業地 (Industrial area)

その他 (Other)

陸の高さ (Land elevation)

2000m

1400m

600m

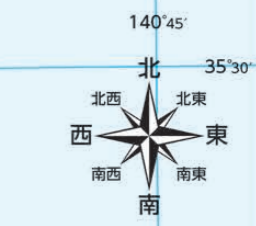
0m

水深 (Water depth)

0m

200m

1000m



ポイント

市街地が鉄道に沿って広がっている
様子が捉えられます。

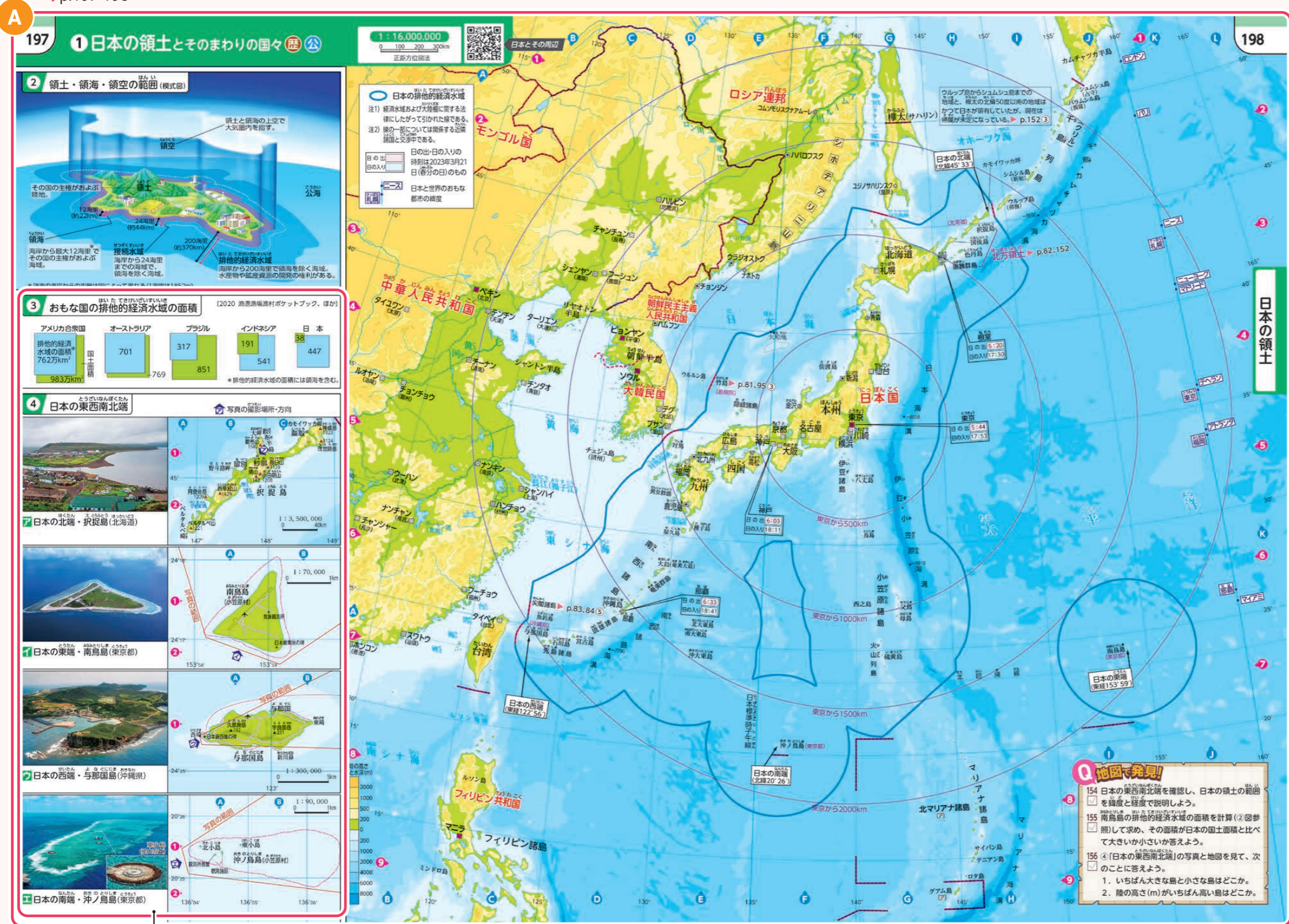
- Q 地図で見!**
- 114 東京湾の海岸線にはどのような特徴がみられるか
 答えよう。また、そこではどのような土地利用がみられるか答えよう。
 - 115 東京を中心とした市街地の広がり(面積)や広がり方(交通網との関係)の特色を、大阪(p.105~106)や名古屋(p.121~122)と比べながら答えよう。

世界と日本の地域的特色が捉えられる地図

日本の領域が正しく理解できる地図 さまざまな地図を例に

日本の領域(領土・領海・領空)について、正しく理解できます。

p.197-198



図③から、日本は国土面積に比して、排他的経済水域が広いことがわかります。図④から、日本の東西南北端の島々の詳細を写真と地図の両方から確認できます。

A 日本の領域を正確に把握

地図で我が国固有の領土や排他的経済水域がわかりやすく捉えられます。また、模式図による図解で、領域に関する用語の意味も理解できます。

※領土に関する記載は、政府の公式見解によります。

B 地域の目で捉える領土

沖縄から見た近隣諸国との距離や結びつきが読み取れます。また、北方領土の歴史的経緯が読み取れます。竹島の詳細な地図も設置しています。

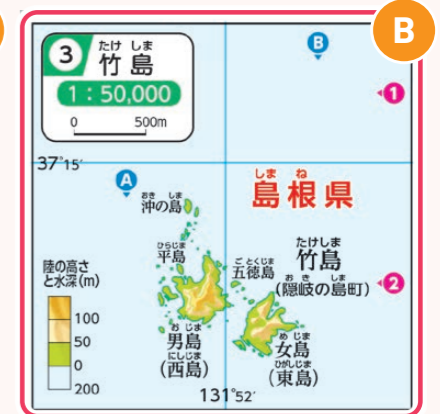
p.85



p.152



p.95



日本の領土に関する資料

1	p.85①	南西諸島周辺
2	p.83①、p.84⑤	尖閣諸島
3	p.81①、p.95③	竹島
4	p.82①、p.151-152①、p.152②③	北方領土
5	p.197-198①②③④	領域・排他的経済水域など

※北方領土・竹島・尖閣諸島の位置と写真は地図帳p.81-83で確認できます。

歴史や公民・修学旅行など多目的に活用できる地図

歴史的分野で活用できる歴史鳥瞰図 日本の鳥瞰図などを例に

地理的分野のみならず、**歴史的分野**でも活用できます。そのためのさまざまな工夫を凝らしています。

ポイント

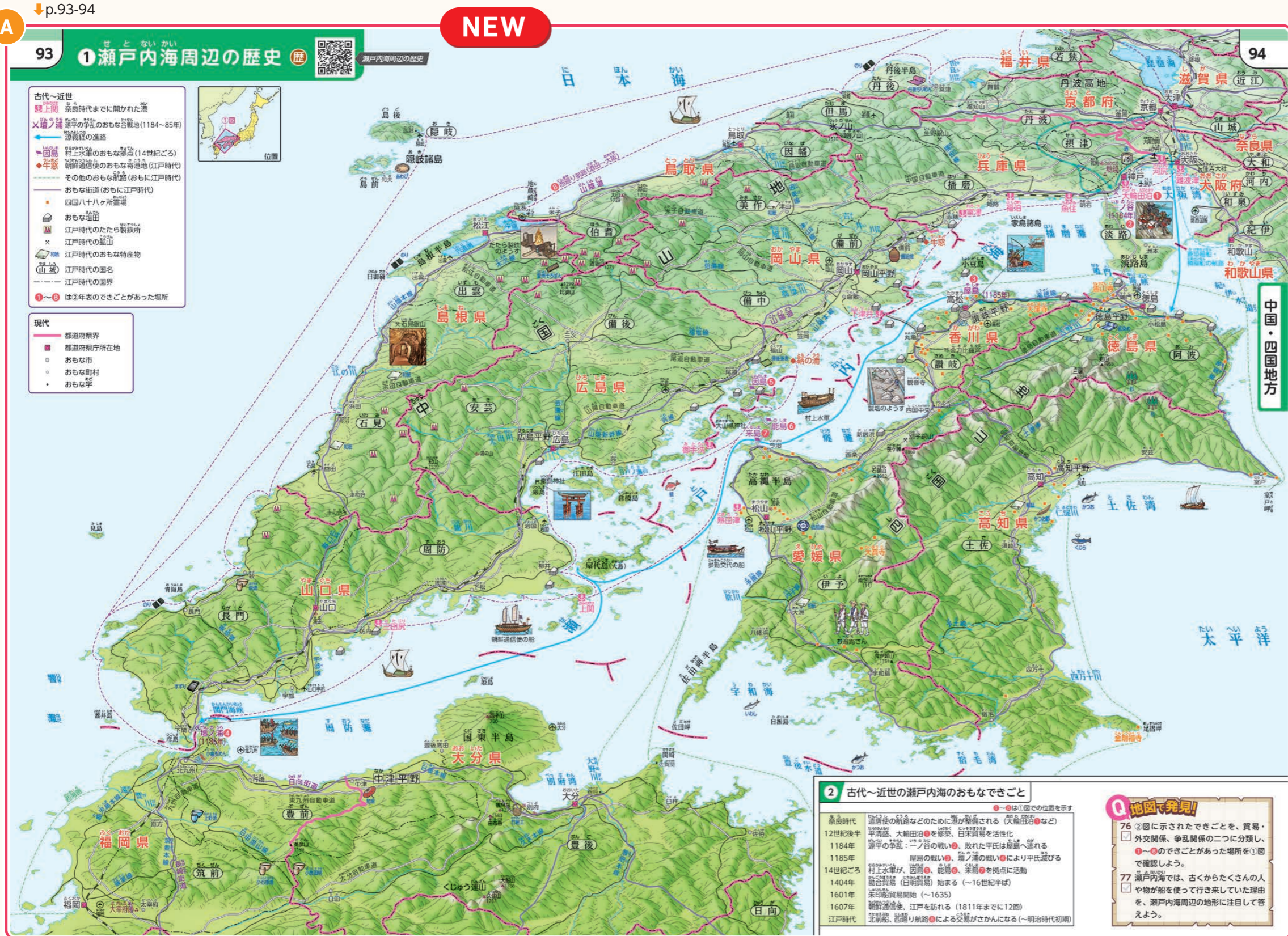
歴史的分野での活用(例)

- 遣唐使などの寄港地が確認できます。
- 源平の争乱のおもな合戦地と、源義経の進路がたどれます。長い距離を移動したことを実感できます。
- 江戸時代の「西廻り航路」のルートがわかります。
- 四国八十八ヶ所霊場の位置が確認できます。

A 歴史で活用できる鳥瞰図

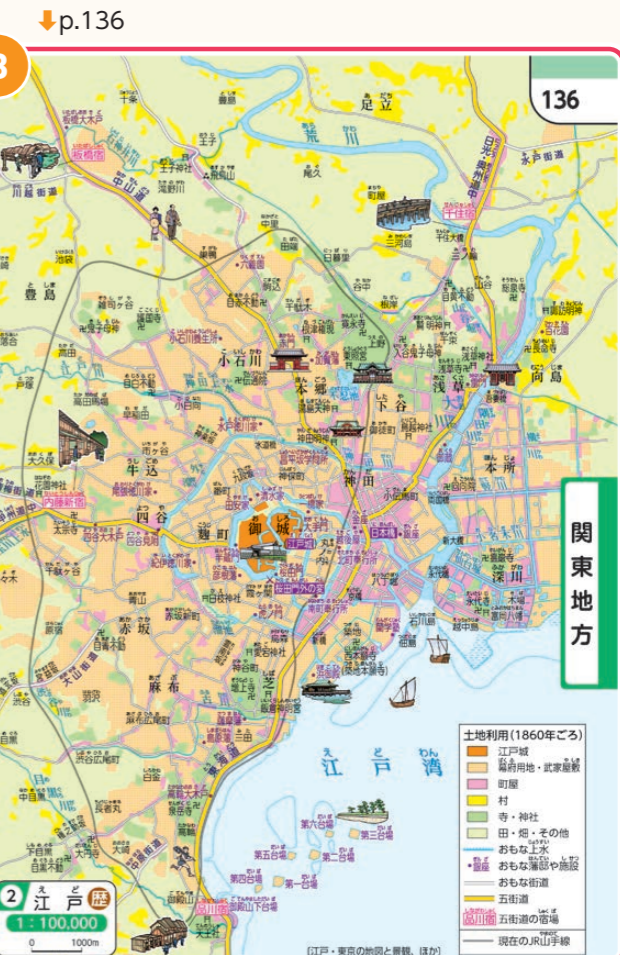
鳥瞰図の上に、奈良時代までに開かれた港とおもな航路を示しています。また、②年表にある「古代～近世の瀬戸内海のおもなできごと」を地図上で確認することができます。

NEW



B 歴史で活用できる地図

1860年ごろの江戸の土地利用の様子が確認できます。新宿や品川、千住、板橋などが宿場町として重要であったことや、当時の東京湾はまだ埋立てられていなかったことなどがわかります。





NEW

- 古代～近世**
- 瀬戸内 奈良時代までに開かれた港
 - × 壇ノ浦 源平の争乱のおもな合戦地(1184～85年)
 - ← 源義経の進路
 - 因島 村上水軍のおもな拠点(14世紀ごろ)
 - ◆ 牛窓 朝鮮通信使のおもな寄港地(江戸時代)
 - 其他のおもな航路(おもに江戸時代)
 - おもな街道(おもに江戸時代)
 - 四国八十八ヶ所霊場
 - おもな塩田
 - 江戸時代のたたら製鉄所
 - × 江戸時代の鉱山
 - 江戸時代のおもな特産物
 - 山城 江戸時代の国名
 - 江戸時代の国界
 - ①～⑧ は②年表のできごとがあった場所
- 現代**
- 都道府県界
 - 都道府県庁所在地
 - おもな市
 - おもな町村
 - おもな字

ポイント

瀬戸内海を中心とした貿易・外交・争乱のルートが確認できます。

- 現代**
- 都道府県界
 - 都道府県庁所在地
 - おもな市
 - おもな町村
 - おもな字



原寸大

2 古代～近世の瀬戸内海のおもなできごと

- は①図での位置を示す
- 奈良時代 遣唐使の航路などのために港が整備される(大輪田泊●など)
- 12世紀後半 平清盛、大輪田泊●を修築、日宋貿易を活性化
- 1184年 源平の争乱：一ノ谷の戦い●、敗れた平氏は屋島へ逃れる
- 1185年 屋島の戦い●、壇ノ浦の戦い●により平氏滅びる
- 14世紀ごろ 村上水軍が、因島●、能島●、来島●を拠点に活動
- 1404年 勘合貿易(日明貿易)始まる(～16世紀半ば)
- 1601年 朱印船貿易開始(～1635)
- 1607年 朝鮮通信使、江戸を訪れる(1811年までに12回)
- 江戸時代 北前船、西廻り航路●による交易がさかになる(～明治時代初期)

Q 地図で発見!

- 76 ②図に示されたできごとを、貿易・外交関係、争乱関係の二つに分類し、①～⑧のできごとがあった場所を①図で確認しよう。
- 77 瀬戸内海では、古くからたくさんの人や物が船を使って行き来していた理由を、瀬戸内海周辺の地形に注目して答えよう。



- 江戸時代**
- 五街道
 - 五街道の宿場
 - その他のおもな街道
 - おもな関所
 - 江戸時代の国名
 - 江戸時代の国界
 - ①～⑫ は②年表のできごとがあった場所

- 現代**
- 都道府県界
 - 都道府県庁所在地
 - おもな市
 - おもな町村
 - おもな字



ポイント
五街道のルートと地形の関係がわかります。

Q 地図で発見!

98 凡例にある五街道を指でたどってみよう。

99 ②図の年表にのっている江戸時代のおもなできごとの場所を地図で確認しよう。



原寸大

2 江戸時代のおもなできごと ①～⑫は①図での位置を示す

- 1603年 徳川家康が江戸に幕府を開く①
- 1614年 大阪の陣② (～1615年)
- 1617年 日光東照宮③が完成する
- 1619年 菱垣廻船による江戸～大阪間の運搬開始④
- 1689年 松尾芭蕉が「おくのほそ道」の旅に出る (おもなルート: 江戸①～平塚⑤～山中⑥～大垣⑦)
- 1707年 富士山の噴火(宝永噴火)⑧
- 1783年 浅間山の噴火⑨
- 1802年 東海道⑩での旅のようすを描いた「東海道中膝栗毛」が出版される (～1814年)
- 1830年 伊勢神宮へのおかげ参りが大流行*⑩
- 1837年 大阪で大塩平八郎の乱が起こる⑪
- 1853年 ペリーが浦賀に来航⑫
- 1869年 京都で鳥羽・伏見の戦いが起こる⑬



3 東京(江戸)～大阪間の所要時間の変化

江戸時代	徒歩(東海道経由、成人男子の場合)	約14日
	飛脚(備前が運営した飛脚の場合)	2～3日
1889年(明治22)	東京と大阪が東海道本線で結ばれる	19時間
1925年(大正14)	特急(御殿場経由)	11時間27分
1934年(昭和9)	特急(熱海経由)	8時間
1958年(昭和33)	特急こだま	6時間50分
1964年(昭和39)	新幹線ひかり、東海道新幹線開通	4時間
2023年(令和5)	新幹線のぞみ	2時間21分
2045年(令和27)	リニア中央新幹線開通予定	1時間7分 (JTB時刻表2023年1月号、ほか)

4 世界遺産 富士山



5 富士山噴火時の降灰予想



歴史や公民・修学旅行など多目的に活用できる地図

修学旅行や、平和学習に活用できる地図を多数掲載

さまざまなイラストが入った親しみのある地図を多数掲載しています。



A 修学旅行などに活用できる地図

p.109-110「近畿地方の歴史・文化・観光」は修学旅行などで訪れる場所を一望できるように地図の範囲を工夫しているので、**修学旅行の事前・事後学習などに活用できます。**多く訪れる史跡や名勝や寺院、おもな施設、交通機関をイラストで掲載して、地図に親しみながら調べ学習ができます。

B 平和学習に活用できる地図

p.85「沖縄島南部のようす」は沖縄戦の激戦地に残る戦跡を地図上から読み取れるようにしており、平和学習にも活用できます。p.92⑨「長崎市」や、p.95②「広島市中心部」も掲載しています。



ポイント

「近畿地方の歴史・文化・観光」は、県をまたいで行動する修学旅行で活用できるように、地図の範囲を工夫しています。北は「延暦寺」から南は「関西空港」や「明日香村」まで、西は「神戸市」から東は「東大寺」まで一望できます。距離の感覚もつかみやすく、歴史的なつながりも読み取れます。修学旅行で訪れる史跡や名勝、おもな施設や交通機関をイラストで掲載しています。



歴史や公民・修学旅行など多目的に活用できる地図

修学旅行や、平和学習に活用できる地図を多数掲載

修学旅行や校外学習で多く訪問する都市を中心に、縮尺5万分の1図を14か所設置しています。

ポイント

縮尺を5万分の1に統一した地図

都市中心部の地図は、原則として縮尺を5万分の1に統一しています。

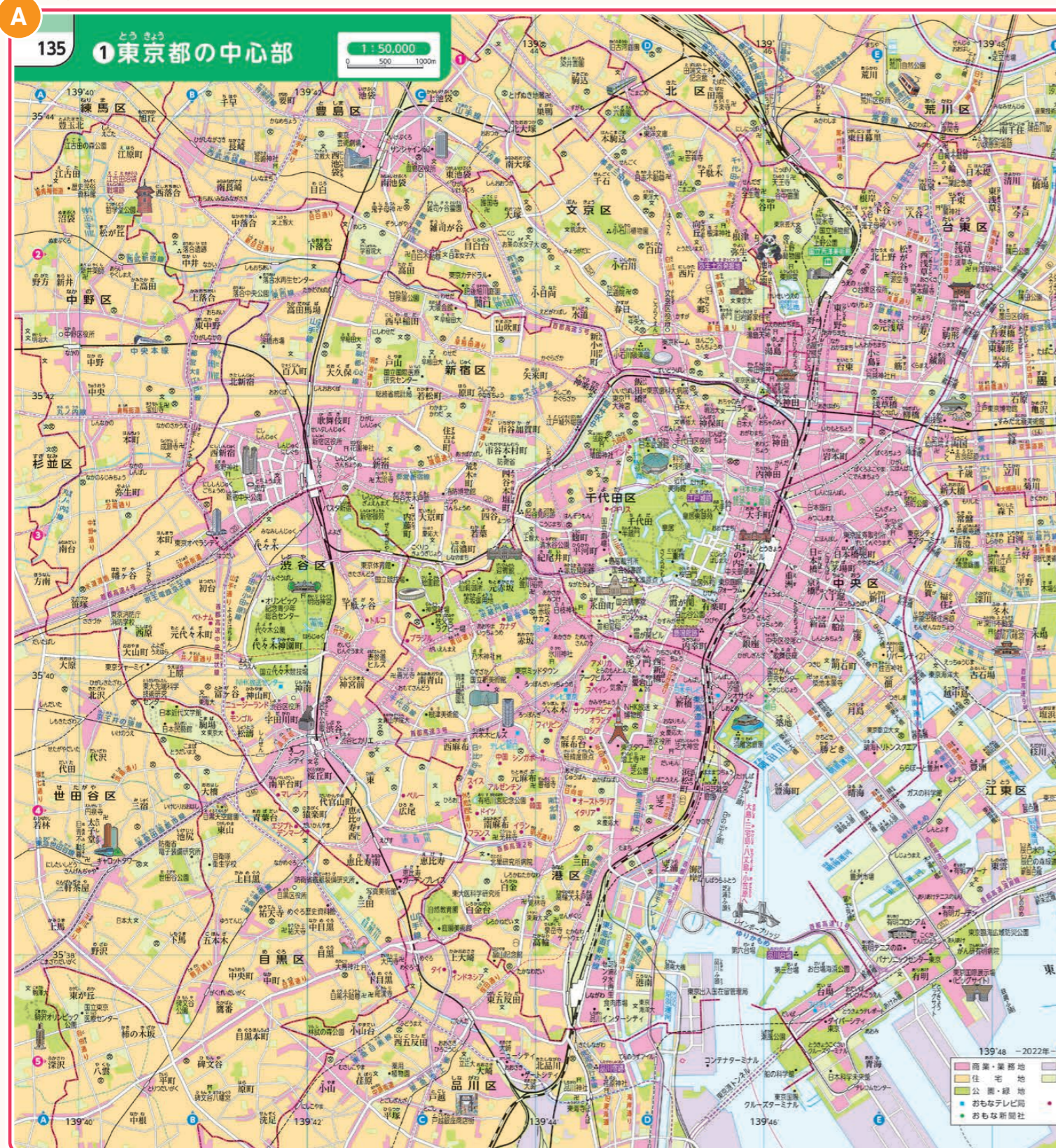
地図の範囲を拡大

京都市・奈良市・大阪市などはその掲載範囲を拡大してリニューアルしています。

A 修学旅行などに活用できる地図

詳細な地図のため、見学先の史跡・名勝や寺社、おもな施設、最寄り駅などがよくわかり、班別活動にも活用できます。訪問の事前学習や事後学習にも活用できます。

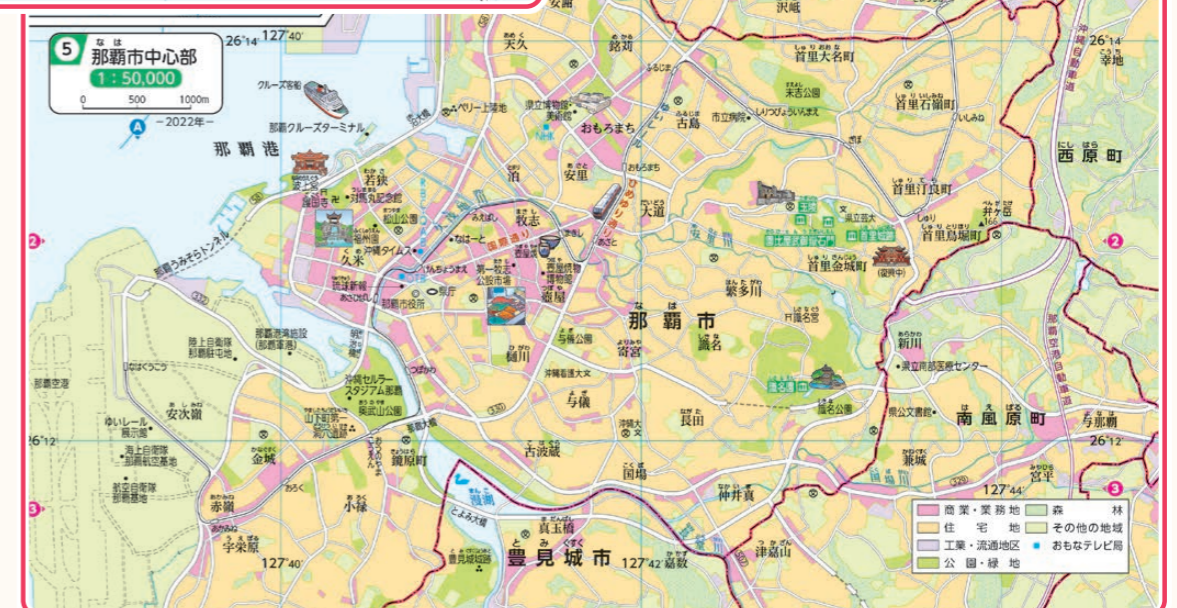
↓p.135-136



↓p.109



↓p.86



修学旅行などで活用できる5万分の1図設置箇所一覧

1	p.86⑤	那覇市中心部	NEW
2	p.92⑧	福岡市中心部	
3	p.95②	広島市中心部	
4	p.109②	神戸市中心部	NEW
5	p.111-112①	大阪市中心部	リニューアル
6	p.113①	奈良市中心部	リニューアル
7	p.113②	斑鳩町付近	
8	p.113③	明日香村付近	NEW
9	p.113-114④	京都市中心部	リニューアル
10	p.125④	名古屋市中心部	リニューアル
11	p.135-136①	東京都の中心部	
12	p.138⑨	横浜市中心部	
13	p.142⑨	仙台市中心部	
14	p.150③	札幌市中心部	

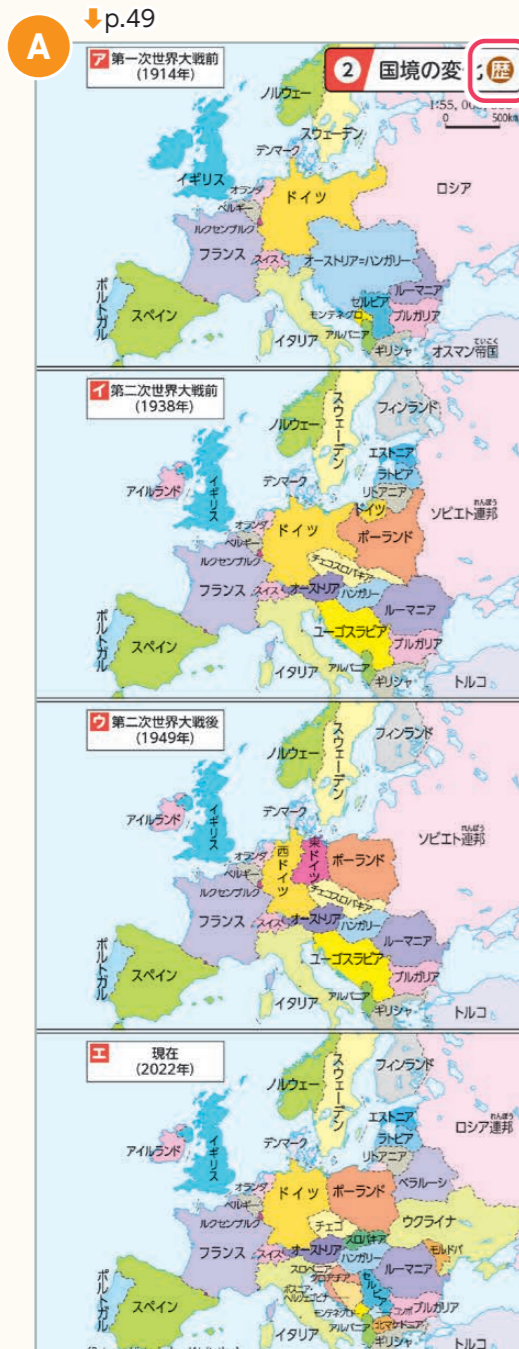
歴史や公民・修学旅行など多目的に活用できる地図

歴史的・公民的分野の学習に活用できる工夫

歴史的・公民的分野の学習にも活用できるように「**歴史アイコン**」(全31か所)と「**公民アイコン**」(全15か所)を設置しています。

A 歴史的分野での活用を促す「歴史アイコン」

歴史的分野の学習と関係が深いページや、地図・資料図のタイトル横に、「**歴史アイコン**」を設置しています(全31か所)。



歴史アイコン設置箇所一覧

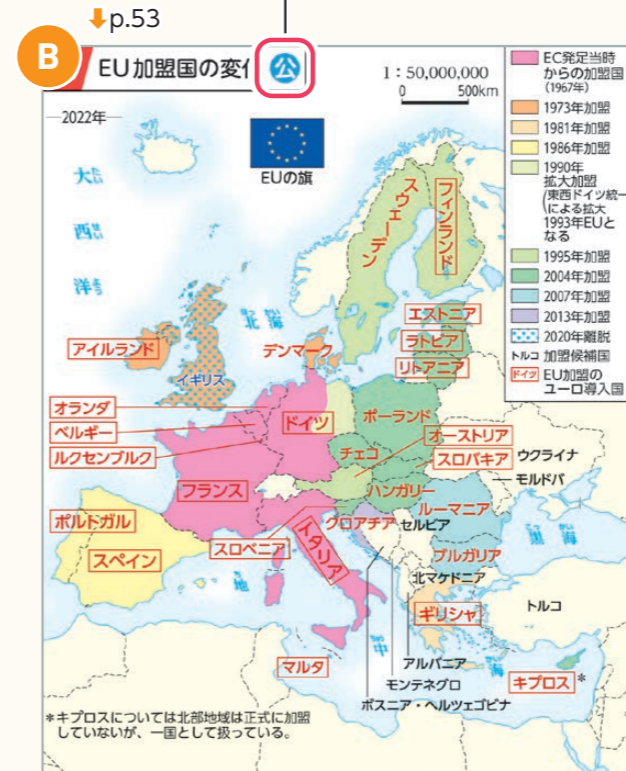
1	p.21-22 ②	さまざまな宗教
2	p.23 ②	第二次世界大戦中(1941年)のアジア
3	p.33 ②	朝鮮半島とのつながり
4	p.35-36 ①	東アジアと日本の交流の歴史
5	p.41 ③	エルサレム旧市街
6	p.48 ④	植民地から独立国へ
7	p.49 ②	国境の変化
8	p.57 ②	ローマ中心部
9	p.69 ①	アメリカ合衆国の成立と移民
10	p.85	九州地方の資料(1)沖縄県
11	p.92 ⑨	長崎市
12	p.92 ⑩	北九州工業地帯の変化
13	p.93-94 ①	瀬戸内海周辺の歴史
14	p.95 ②	広島市中心部
15	p.107-108 ②	大阪湾周辺の地形
16	p.109-110 ①	近畿地方の歴史・文化・観光
17	p.111 ②	江戸時代の大阪
18	p.113 ①	奈良市中心部
19	p.114 ④	京都市中心部
20	p.117-118 ①	本州中央部と五街道
21	p.133-134 ①	東京都周辺の地形
22	p.136 ②	江戸
23	p.152 ③	日本とロシア・ソ連の国境の変遷
24	p.154 ⑥	アイヌ語地名と開拓の歴史
25	p.154 ⑧	石狩平野の土地改変
26	p.168 ⑥	日本の公害
27	p.171 ①	日本からの所要時間の変化
28	p.172 ⑧	東京と博多(福岡)間の所要時間の変化
29	p.173-174	日本の歴史・生活・文化
30	p.196 ①	昔の国名と国境
31	p.197-198 ①	日本の領土とそのまわりの国々

↓p.117



B 公民的分野での活用を促す「公民アイコン」

公民的分野の学習と関係が深いページや、地図・資料図のタイトル横に、「**公民アイコン**」を設置しています(全15か所)。



公民アイコン設置箇所一覧

1	p. 9-10	地図で考える持続可能な社会(2)
2	p.11-12	地図で考える持続可能な社会(3)
3	p.13-14	地図で考える持続可能な社会(4)
4	p.21-22 ②	さまざまな宗教
5	p.48 ⑤	言語分布と紛争
6	p.53 ③	EU加盟国の変化
7	p.80 ⑦	移民の出身地
8	p.85	九州地方の資料(1)沖縄県
9	p.90 ②	環境のまち北九州市
10	p.136 ③	霞が関
11	p.163-164	世界と日本の人口
12	p.165-166	世界と日本の鉱産資源
13	p.168 ⑥	日本の公害
14	p.171 ④	訪日外国人数の推移
15	p.197-198 ①	日本の領土とそのまわりの国々

ポイント

QRコンテンツ「地図帳主題図一覧」には、歴史・公民アイコンの一覧表があるので、歴史や公民的分野の学習で使える地図や資料がどこにあるのかわかります。

「持続可能な社会の実現」に向けて考察できる工夫

SDGsについて考察できる資料が充実

「持続可能な社会の実現」に向けて考察できる資料を豊富に掲載しています。
SDGsについて考察できるページや資料の横には「SDGsアイコン」(全48か所)を設置しています。

SDGs について考察できる「SDGs アイコン」

- SDGsの視点で考察できるページや、地図・資料図のタイトル横に「SDGs アイコン」を設置しています(全48か所)。



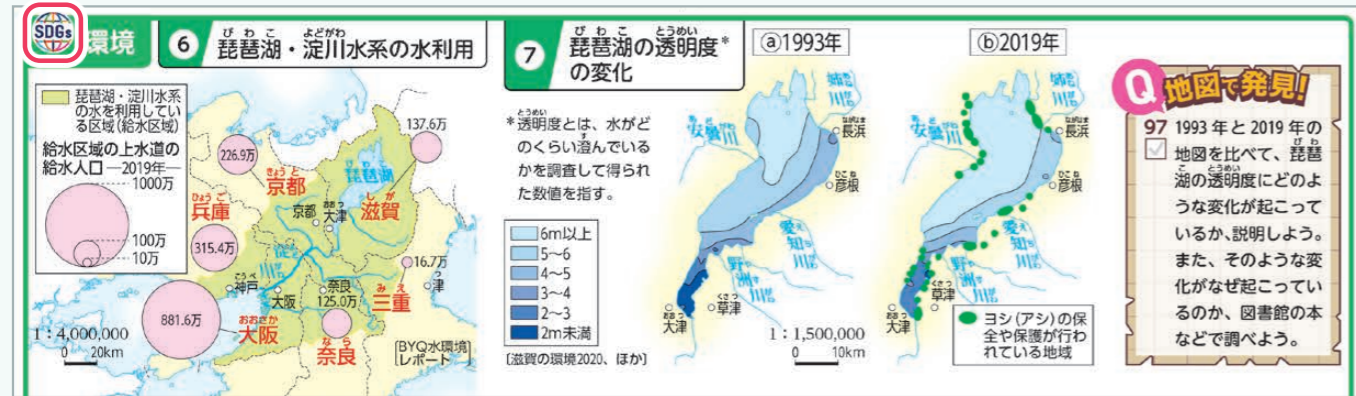
ポイント

地図活用を通してSDGsを考察できます。

↓p.11



↓p.115



↓p.116



エスディー・ジーズ SDGs(持続可能な開発目標)とは…

「Sustainable Development Goals = 持続可能な開発目標」の文字を合わせた言葉です。世界全体の問題解決に向けた、2030年までに達成すべき取り組みです。「誰ひとり取り残さない」という理念のもと、17のゴールが掲げられています。この地図帳内のさまざまな地図からも、持続可能な社会について考えてみましょう。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



● SDGsの17のゴール



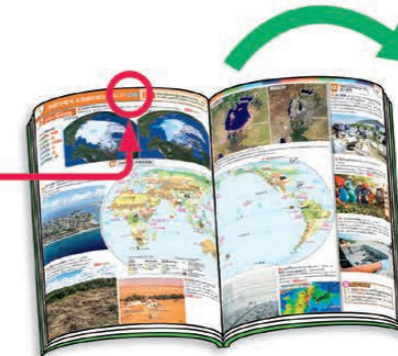
この地図帳で、特にSDGsについて取り上げているページなどを調べてみよう。



● 地図帳を通してSDGsを考えてみよう

● 紙面全体で見えるもの

SDGsの17のゴールと関係が深いと考えられるページのタイトル横に、SDGsのマークが付いています。



ページ	ページのおもな内容	おもなSDGsのゴール
p.9-10	世界のおもな環境問題	11 12 13 14 15 17
p.11-12	世界の二酸化炭素排出量/世界の経済状況	1 7 10 13
p.13-14	ハンガーマップ/世界の紛争と難民	2 3 4 16
p.159-162	日本の自然災害・防災(1)・(2)	9 11 13 14 15
p.165-166	世界と日本の鉱産資源	7 8 9 13 17
p.180(一部)	持続可能な社会を考える統計	5 8 12 14 17

● 資料ごとに見るもの

主題図やグラフなどのタイトル横に、SDGsのマークが付いています。



● QRコードコンテンツ

このページのタイトル横のQRコードを読み込むと、SDGsの各ゴールが付いている資料の対照表が見られます。

関連するSDGsのゴールを確認できるね。



地図帳 SDGs対照表

※地図帳で他のマークが付いているページや主題図、グラフなどを示しています。

ページ	図番号	図のタイトル	おもなゴール
9~10	①	世界のおもな環境問題	11 13 14 15
10	②	持続可能な社会への取り組み	11 12 13 14
11~12	①	世界の二酸化炭素排出量	7 13
11~12	②	世界の経済状況	1 10
13~14	①	ハンガーマップ	2 3
13~14	②	世界の紛争と難民	4 16
32	⑨	大気汚染	7 8 13
32	⑩	電力	7 8 9 12
32	⑪	中国と日本の貿易額の変化	8 9 12 17

「持続可能な社会の実現」に向けて考察できる工夫

SDGsについて考察できる地図が充実 「地図で考える持続可能な社会(3)」を例に

SDGsの特設ページ「地図で考える持続可能な社会(1)(2)(3)(4)」を新設しています。

p.11-12

11 地図で考える持続可能な社会(3)

主題 学習? 脱炭素社会への取り組みが世界で行われるようになっているのはなぜだろうか。

*地球温暖化の原因となる二酸化炭素などの排出量が実質ゼロになった社会のことをいいます。

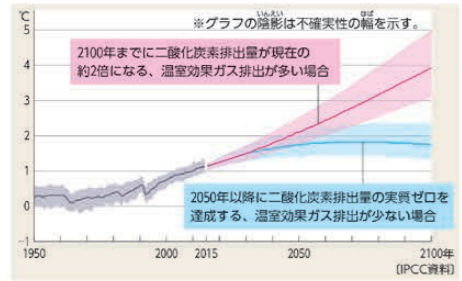
Q 地図で発見!

3 ①図に示されたおもな国や地域のうち、二酸化炭素排出量が最も多い国や地域は?

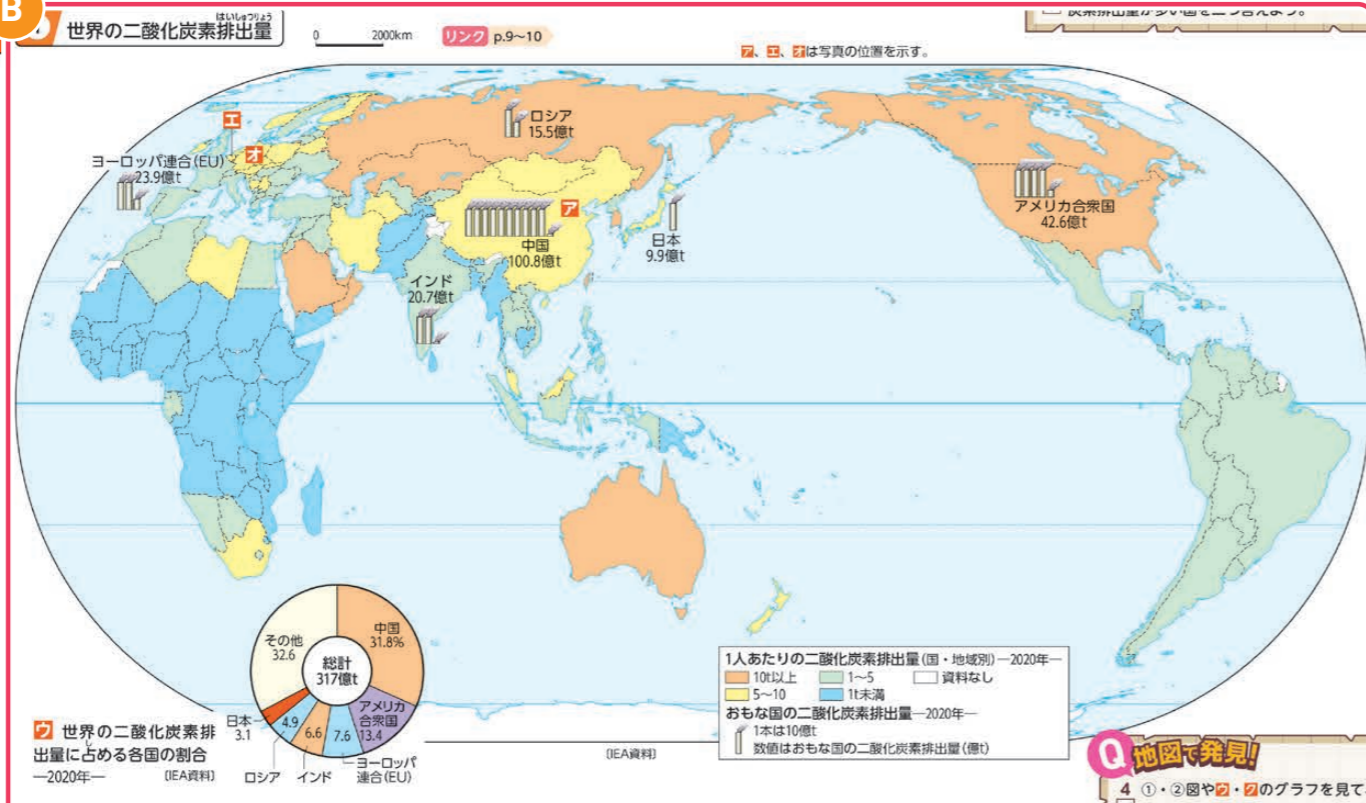
A B 世界で排出されている二酸化炭素



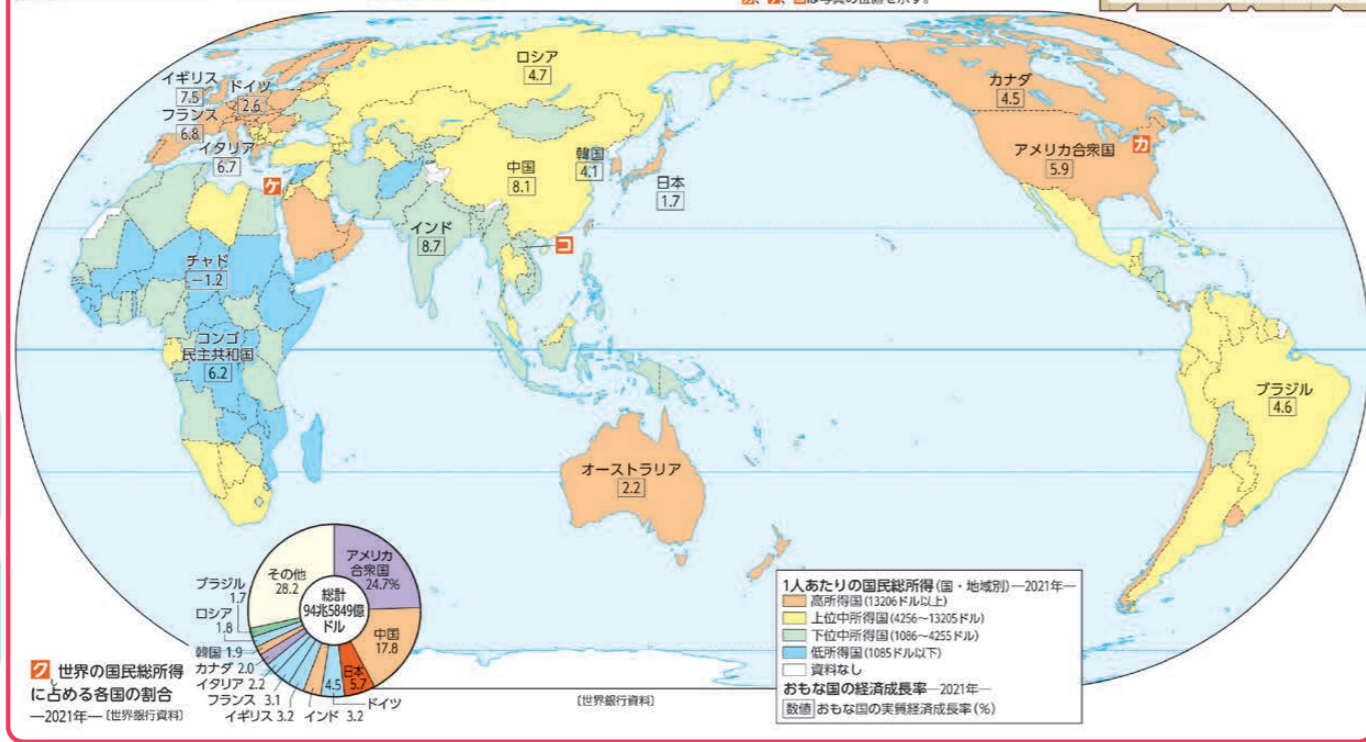
石炭を燃料とする火力発電所(中国) - 2018年 - 石炭火力発電は、他の方法より多くの二酸化炭素を排出します。温室効果ガスの一つである二酸化炭素の排出削減は、地球的な課題です。



1850~1900年を基準とした世界の平均気温の変化 温室効果ガス排出を削減しなければ、地球温暖化はさらに進むと考えられています。脱炭素社会の実現が求められています。



2 世界の経済状況



A C だったん、脱炭素社会の実現に向けて



高所得国の一つ アメリカ合衆国(ニューヨーク) - 2022年 - 国民総所得の比較的高い国は、二酸化炭素排出量も多い傾向があります。脱炭素社会の実現にはこれらの国の果たす役割が重要です。

経済発展した国だけに温室効果ガス排出削減を求めるのは不公平だ。 / 今まで経済発展してきた国が、脱炭素のために積極的に取り組むべき。

脱炭素のために、二酸化炭素を排出しない発電を増やすとよいのでは。 / 資金や技術が乏しいので、脱炭素実現のためには支援が欲しい。

脱炭素に向けたさまざまな国の意見の例 脱炭素への考え方は、国の経済状況などによりさまざまです。

NEW

12

ポイント

- SDGsに関連するテーマを地図化することで、考察しやすい資料にしています。
- 「二酸化炭素排出量」と「国民総所得」には相関関係があることを、地図の比較から読み取ることができます。

A 豊富な写真資料

- 左ページでは課題を理解するための写真を、右ページでは問題解決への取り組みを紹介する写真を掲載しています。

B 考察しやすい工夫

- 地図の図法や縮尺を極力合わせ、ページ内、ページ間で比較しやすくしています。
- 資料活用能力が高められます。



洋上風力発電所(ベルギー) - 2019年 - 石炭や石油などの化石燃料に頼らない、再生可能エネルギーへの移行が進んでいます。洋上を利用した風力発電も普及してきています。



電気自動車と充電設備(ドイツ) - 2022年 - 世界では中国やヨーロッパを中心に、二酸化炭素を排出しない電気自動車も普及してきています。



気候変動枠組条約締約国会議(エジプト) - 2022年 - パリ協定(2015年)以降、経済発展した国だけでなく、それ以外の国も二酸化炭素の削減が求められるようになり、世界全体で削減に取り組んでいます。



日本の支援による水上太陽光発電設備(ラオス) - 2019年 - 地球温暖化は世界全体に影響が及ぶため、どの国も対策が求められます。発展途上国は、他国から技術や資金の支援を得て脱炭素を進めています。

脱炭素

「地図で考える持続可能な社会」テーマ一覧

1	p.8	SDGsとは...	NEW
2	p.9-10	環境問題	リニューアル
3	p.11-12	脱炭素	NEW
4	p.13-14	食料問題・紛争	NEW

「持続可能な社会の実現」に向けて考察できる工夫

自然災害・防災への意識を高められる資料が豊富

「日本の自然災害・防災(1)」を例に

地震や火山などによる自然災害の発生過程から、被害、対策まで学べます。

理科との関連など、カリキュラム・マネジメントを考えた教科等横断的な活用も可能です。

p.159-160

A 159 日本の自然災害・防災(1) **160**

1 日本の地震と火山の分布 **リンク** p.159(2)、155~156

2 南海トラフ沿いで発生した過去の巨大地震

3 東日本大震災の被害

4 自然災害に対する備え(模式図) **リンク** p.92(12)、102(9)、103(2)、118(5)、125(3)、140(7)・(8)、142(12)、154(10)

5 富士山噴火時の降灰予想

6 洪水への備え

7 東京都周辺の地形

8 都市型洪水への備え

9 東京都の大規模災害への備え

10 宮古市(田老)の津波への備え

11 札幌市の雪への備え

12 日本の地震と火山の分布

13 南海トラフ沿いで発生した過去の巨大地震 **NEW**

14 東日本大震災の被害

15 自然災害に対する備え(模式図)

16 日本の気象災害 **NEW**

17 台風 **NEW**

18 線状降水帯 **NEW**

19 ハザードマップ(洪水)

20 地形図から読み取る浸水被害

さまざまな自然災害の被害だけでなく、その対策について、模式図をもとに考えることができます。

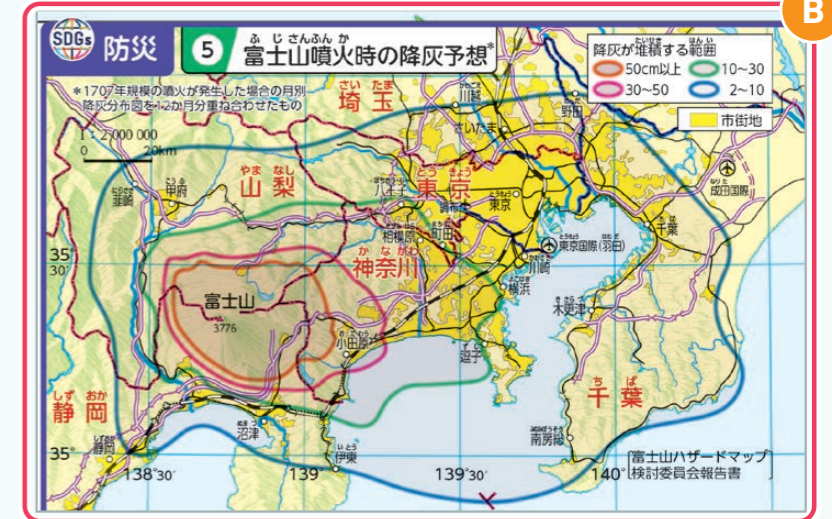
A 地震や火山による自然災害を理解する

- 防災意識を高められるように、地震や火山によって起こる自然災害と防災対策を取り上げています。

B 地域での防災意識の育成につなげる

- 日本各地域の防災に関する資料を全20か所設置しています。

p.118



充実した「防災」に関する資料の設置箇所一覧(日本の7地方すべてに設置)

1	p.92 ⑫	島原半島の火山災害への備え
2	p.102 ⑨	広島市付近にある水害の碑の分布
3	p.103 ②	神戸市付近の地震災害への備え
4	p.107-108 ①	大阪湾周辺の地形
5	p.118 ⑤	富士山噴火時の降灰予想
6	p.125 ③	洪水への備え
7	p.133-134 ①	東京都周辺の地形
8	p.140 ⑦	都市型洪水への備え
9	p.140 ⑧	東京都の大規模災害への備え
10	p.142 ⑫	宮古市(田老)の津波への備え
11	p.154 ⑩	札幌市の雪への備え
12	p.159 ①	日本の地震と火山の分布
13	p.159 ②	南海トラフ沿いで発生した過去の巨大地震 NEW
14	p.159 ③	東日本大震災の被害
15	p.160 ④	自然災害に対する備え(模式図)
16	p.161 ①	日本の気象災害 NEW
17	p.161 ③	台風 NEW
18	p.162 ②	線状降水帯 NEW
19	p.162 ④	ハザードマップ(洪水)
20	p.162 ⑤	地形図から読み取る浸水被害

「持続可能な社会の実現」に向けて考察できる工夫

自然災害・防災への意識を高められる資料が豊富

「日本の自然災害・防災(2)」を例に

台風や大雨などの気象災害の発生過程から、被害、対策まで学べます。

ポイント

- 「日本の自然災害・防災(1)(2)」では、ページ間で地図の縮尺を合わせて、比較できるようにしています。
- 日本列島各地でさまざまな災害が発生していることや、発生のおもな地域がわかり、防災意識が高められます。

p.161-162

A

161 日本の自然災害・防災(2) **NEW** **162**

1 日本の気象災害 [リンク](#) p.157~158, 160

※1 大雨、大雪、強風などによって生じる災害のこと。

近年気象災害が発生したおもな地域(2018年以降)

- 気象災害のうち激甚災害※2に指定されたおもな地域
- ※2 内閣府が指定する、被害が著しく地域や被災者への防災活動や助成が必要となった災害

← ユーラシア大陸からの冷たい風(冬)
→ 太平洋からの温かくしめった風(夏)

● 豪雪地帯※3
※3 国土交通省が指定した特別豪雪地帯

Q 地図で発見!

138 ①図で、近年の気象災害は日本各地のどのようなところで起こっているか答えよう。
139 ②図で、洪水によって浸水した範囲の標高とおもな土地利用を答えよう。

2 大雨による洪水のようす (熊本県人吉市) - 2020年7月 -

3 大雪による交通障害のようす (新潟県南魚沼市) - 2020年12月 -

4 台風による暴風被害のようす (沖縄県那覇市) - 2018年9月 -

5 台風による高潮の被害のようす (大阪府 関西国際空港) - 2018年9月 -

6 台風による河川の氾濫のようす (長野県長野市) - 2019年10月 -

7 大規模な水害に備えた遊水地 (茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県) 遊水地遊水地
- 2022年 -
洪水時に、遊水地に水が集まるようになっています。遊水地や貯留施設の整備が全国各地で行われています。

2 線状降水帯 同じ地域で次々と発生する雨雲の列

線状降水帯のしくみ

日本の自然災害・防災

線状降水帯による降水のようす (tenki.jp 2020年7月)

▼1時間あたりの降水量 (左図拡大)

3 台風 広い範囲に影響を及ぼす自然現象

過去のおもな台風の進路

おもな台風の進路

8月
9月
10月

台風19号 1991(平成33)年
台風12号 2011(平成23)年
台風23号 2004(平成24)年
令和元年度日本台風 2019(令和元年)
伊勢湾台風 1959(昭和34)年
台風10号 1945(昭和20)年

台風による降水のようす (tenki.jp 2019年10月)

10月12日19時00分

▼1時間あたりの降水量 (左図拡大)

50
20
15
10
5
1

4 図のハザードマップの凡例 (熊本県人吉市、一部)

地図記号の凡例

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 消防団連絡施設
- 公民館その他
- ヘリコプター発着予定地
- 水位監視カメラ設置箇所

地域によって、災害リスクにちがいがあふようだね。自分の住むまちのようすも見てみよう。

国土地理院のハザードマップポータルサイト

5 地形図から読み取る浸水被害 (熊本県人吉市) [リンク](#) p.195

川の流れる方向

100mの等高線
110mの等高線

洪水による推定浸水範囲
2020年7月4日午後8時頃

色の凡例(浸水の想定)

- 0.5m未満の区域
- 0.5m~3.0m未満の区域
- 3.0m~5.0m未満の区域
- 5.0m~10.0m未満の区域
- 10.0m~20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域

A 気象災害を理解する

- 甚大な気象災害が発生したおもな地域や、台風や線状降水帯が発生するしくみをわかりやすく示しています。

B 防災意識を育成する

- 「都市型洪水」とその対策が理解できます。東京都の都市部では、洪水への対策として「地下調節池」を整備していることがわかります。

p.140

B

SDGs 防災 7 都市型洪水への備え (東京都建設局資料、ほか)

白子川地下調節池 3.2km
石神井川地下調節池 5.4km (建設中)
中野区 地下調節池 4.5km

地下調節池のあるところ
取水施設
調節池(計画・建設中を含む) 区役所
1982(昭和57)年の洪水の浸水地域

地下調節池のしくみ

大雨のときは増水した川の水を地下調節池に流して洪水を防ぎ、雨があがると排水ポンプを使って戻す。

地下調節池の内部

ゲートを開いて川の水を地下調節池に流す

ゲートが閉じると、約40mの高さで水を貯め、排水ポンプを使って地下の水を川に戻す

約40m

12.5m

地形図とハザードマップの読み取りを通して、想定される災害から身を守ることを、生徒自身が考えられます。

主体的に学べて、資料活用能力が高まる工夫

地理的技能の基本が身に付けられる「この地図帳の使い方」

「この地図帳の使い方(1)」を例に

主体的に学習に取り組めるよう地図帳の使い方を、段階を追って丁寧に解説しています。地図活用の技能を定着させるために、それぞれの項目に対応するQRコンテンツを用意しています。

1 小学校で学習した地図の約束を振り返ろう

- 「方位」「地図記号」「縮尺」など地図の約束を振り返ることができます。

↓対応するQRコンテンツ



2 地図の種類を確認しよう

- 「一般図」「地形図」「鳥瞰図」「主題図」の違いについて説明しています。

↓対応するQRコンテンツ



3 地図帳の見方・使い方を確認しよう

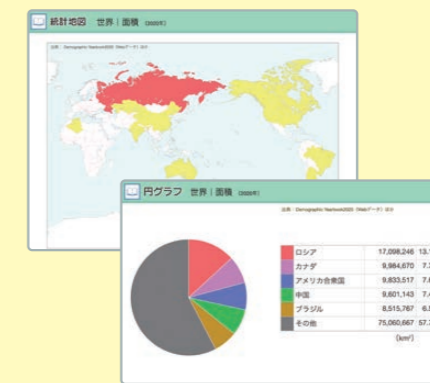
- 地図帳の具体的なページを例に使い方を丁寧に解説しています。

↓対応するQRコンテンツ



ポイント

- 小学校で学習した地図の約束を振り返ることができます。
- QRコンテンツでは、地図の基礎・基本をアニメーション形式で解説しています。
- 統計資料は並び替えができます。また、円グラフ・地図表示も可能です。



この地図帳の使い方



統計資料



↓p.5-6

このページは、地図帳の「この地図帳の使い方(1)」というセクションの5ページと6ページの内容を示しています。1ページには方位、地図記号、色、縮尺の復習があります。2ページには一般図、地形図、鳥瞰図、主題図の分類が示されています。3ページには地図帳の見方・使い方に関する詳細な説明と、オーストラリア州の地図が掲載されています。4ページには「さくいん」(索引)と「統計」(統計表)の使い方が説明されています。右側には「地図帳の使い方」に関する目次や索引が掲載されています。

4 地図帳を使いこなそう

- 「さくいん」「統計」の使い方について解説しています。

↓対応するQRコンテンツ



主体的に学べて、資料活用能力が高まる工夫

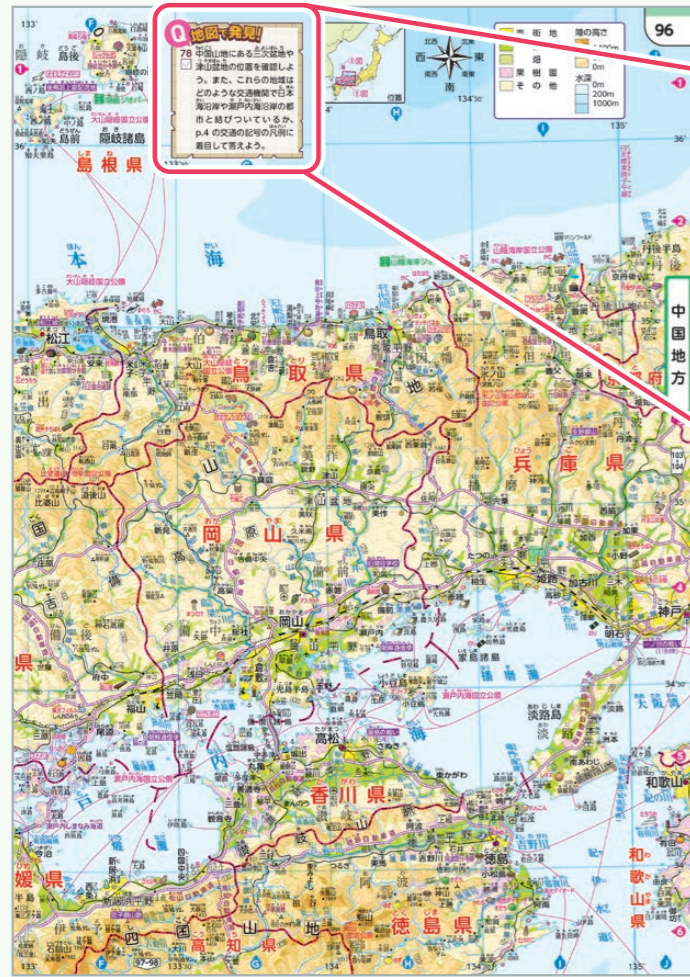
「地理的な見方・考え方」を働かせる問い「地図で発見！」

「地図で発見！」を例に

主体的に学習に取り組むための問い「地図で発見！」を設置しています。

「社会的な見方・考え方」を働かせる「問い」を中心に構成しています。

↓p.96

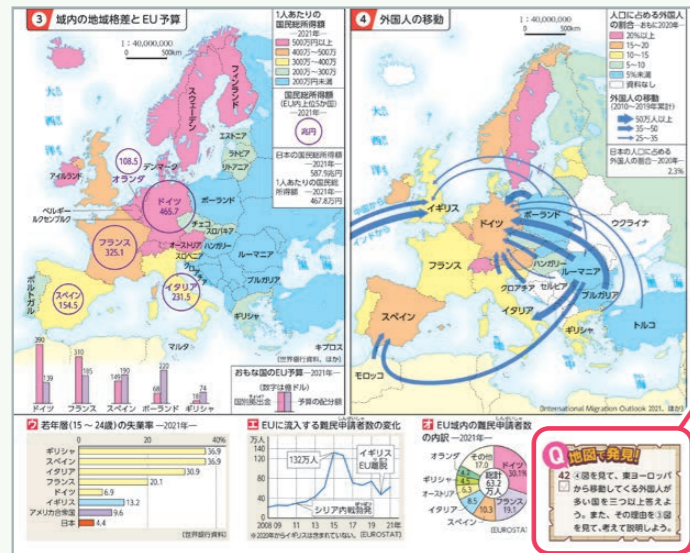


Q 地図で発見!

78 中国山地にある三次盆地や津山盆地の位置を確認しよう。また、これらの地域はどのような交通機関で日本海沿岸や瀬戸内海沿岸の都市と結びついているか、p.4の交通の記号の凡例に着目して答えよう。

計103か所、
全156問
設置しています!

↓p.57



Q 地図で発見!

42 ④図を見て、東ヨーロッパから移動してくる外国人が多い国を三つ以上答えよう。また、その理由を③図を見て、考えて説明しよう。

Q 地図で発見!

42 ④図を見て、東ヨーロッパから移動してくる外国人が多い国を三つ以上答えよう。また、その理由を③図を見て、考えて説明しよう。

A 問い「地図で発見！」

● 地図の読み取りなどの地図活用の技能が身に付くだけでなく、「社会的な見方・考え方」を働かせて「問い」を追究できます。

ポイント

- 「歴史的な見方・考え方」「現代社会の見方・考え方」を働かせる問いも設置しています。
- 通し番号とチェックボックスがあるので、達成感をもって学習を進められます。

「地図で発見！」の解答と解説 (QRコンテンツ)

地図帳p.6 ④の③問いコーナー「地図で発見！」にあるQRコンテンツに解答・解説が収録されています。



Q 地図で発見! 解答と解説

地図帳のページ	問いの番号	Q 問題	A 解答	ポイント解説
91	74	九州地方で人口が最も多い県を、人口分布のようすを見て答えよう。また、人口が最も集中している都市も答えよう。	福岡県、福岡市	p.181①から福岡県の人口が、p.183④から福岡市の人口がわかります。福岡市は、政治・経済・文化において九州地方の中心的な役割を担っている九州最大の都市です。
92	75	島根半島では、火山災害に備えてどのような対策をしているか答えよう。	火砕流や土石流を受け止める砂防堰堤や海に導く導流堤をつくったり、安全に仕舞えるように地面の上に土を盛り上げたりしている。など	砂防堰堤は、火砕流や土石流の土砂をためるダムです。導流堤は、片仮名の「ハ」の字型に堤防を配置することで、土砂の流出を食い止めるものです。
94	76	②図に示されたできごとを、貿易・外交関係、争乱関係の二つに分類し、①～③のできごとがあった場所を①図で確認しよう。	貿易・外交関係：大輪田泊、日宋貿易、日明貿易、朱印船貿易、北前船、西回り航路、遣唐使、朝鮮通信使 争乱関係：源平の争乱、村上水軍	瀬戸内海は古代から、アジアへの玄関口である九州北部と政治の中心地である近畿地方を結ぶ航路として利用され、海上交通の大動脈となっていました。
94	77	瀬戸内海では、古くからたくさんの人や物が船を使って行き来していた理由を、瀬戸内海周辺の地形に注目して答えよう。	瀬戸内海は、本州西部、四国・九州に囲まれた内海のため波が穏やかで、島々が点在しており、船の安全な航行に便利だったため。	瀬戸内海は、本州西部、四国、九州に囲まれた日本最大の内海で、外周が100m以上の島が1,000を超える多島海です。
96	78	中国山地にある三次盆地や津山盆地の位置を確認しよう。また、これらの地域はどのような交通機関で日本海沿岸や瀬戸内海沿岸の都市と結びついているか、p.4の交通の記号の凡例に着目して答えよう。	高速道路やおもな道路(国道)、JR線	東西方向にのびる中国山地のなかを中国自動車道が通っています。この自動車道が通る三次市の場合は、松江自動車道で日本海沿岸と結ばれ、芸備線で瀬戸内海沿岸の広島市と結ばれていることが読み取れます。
98	79	大分県と別府市と別府一帯の航路を指すたどり、瀬戸内海が九州地方と近畿地方を結ぶ重要な役割を果たしていることを確認しよう。	地図から豊後海峡の来島海峡、香川県の瀬戸大橋下、明石海峡を通過していることがわかります。	旅行の計画をたてるように、インターネットなどで航路や時刻表、料金、船舶の種類、利用者数などについて調べると学習が深まります。
98	80	高知県でハウス栽培がさかんなところを確認し、そこでつくられている農産物を三つ以上答えよう。また、p.88でハウス栽培のさかんなところの共通点を見て、答えよう。	農産物…ピーマン、きゅうり、ししとう、なす / 共通点…太平洋に面した平野である点、ピーマンや	高知県のハウス栽培のようすを、p.102①図でくわしく見てみよう。また、p.91⑦図の宮崎平野の野菜栽培のようすも見てみよう。

+α 小学校地図帳からの「問い」の架け橋

● 令和2年度用の小学校地図帳より、児童が主体的に地図帳を活用できる問い「地図マスターへの道」を設置しました。この問いは「社会的な見方・考え方」を働かせた地図活用にも有効です。中学校地図帳においても、小・中接続や小・中一貫教育に配慮してその方針を踏襲し、地図帳の活用につながる「問い」を充実させています。

地図マスターへの道

- 14 日本、南端、北端、東端、西端の島の名前をそれぞれ答えよう。
- 15 北方領土とよばれる島と群島の名前を四つ答えよう。
- 16 東京から、沖縄島的那覇と大韓民国のソウルでは、どちらが遠いかな。

↑ 帝国書院 令和6年度用 小学校地図帳 p.31 「地図マスターへの道」

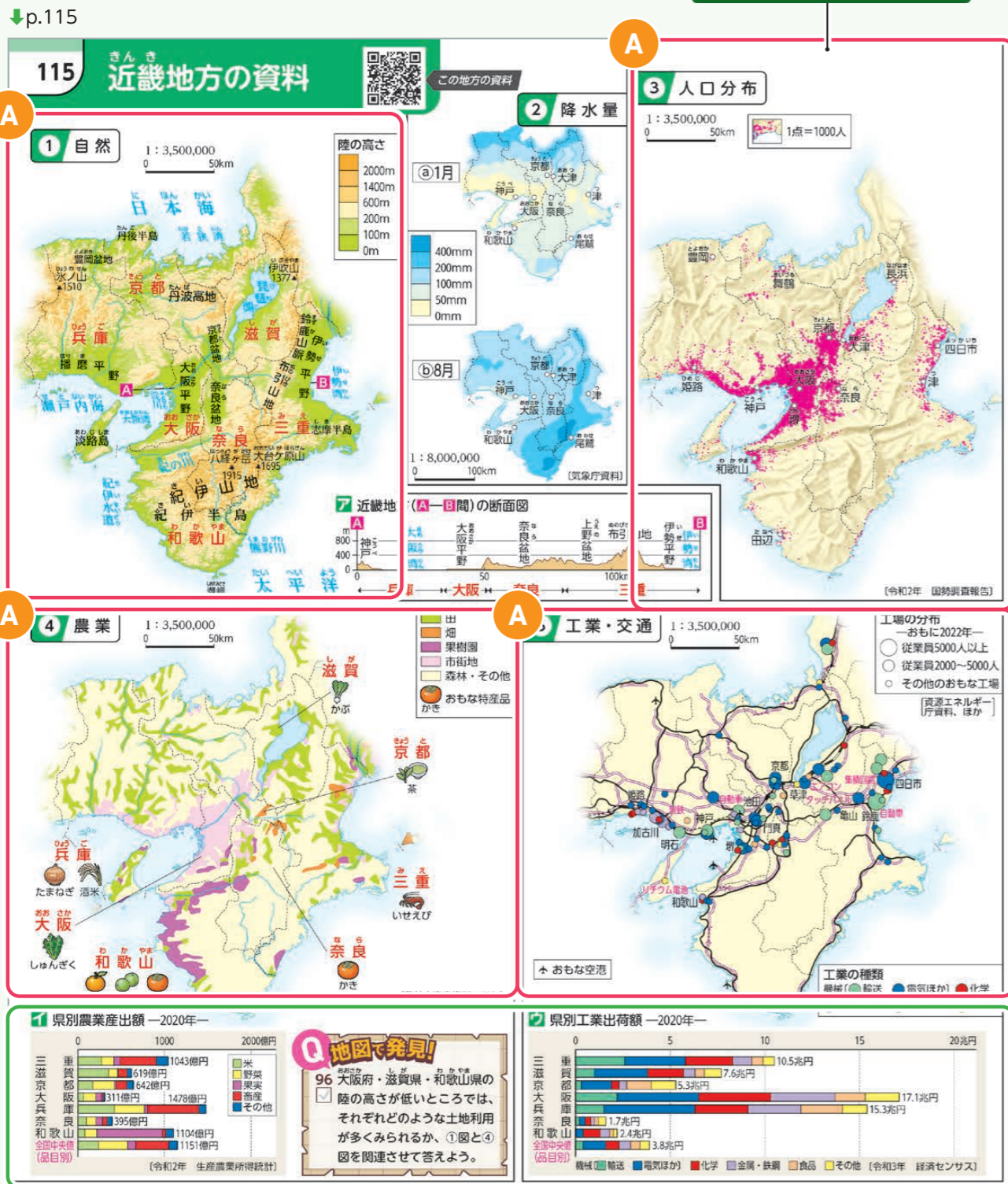
主体的に学べて、資料活用能力が高まる工夫

地域理解につながる資料が充実 資料図を例に

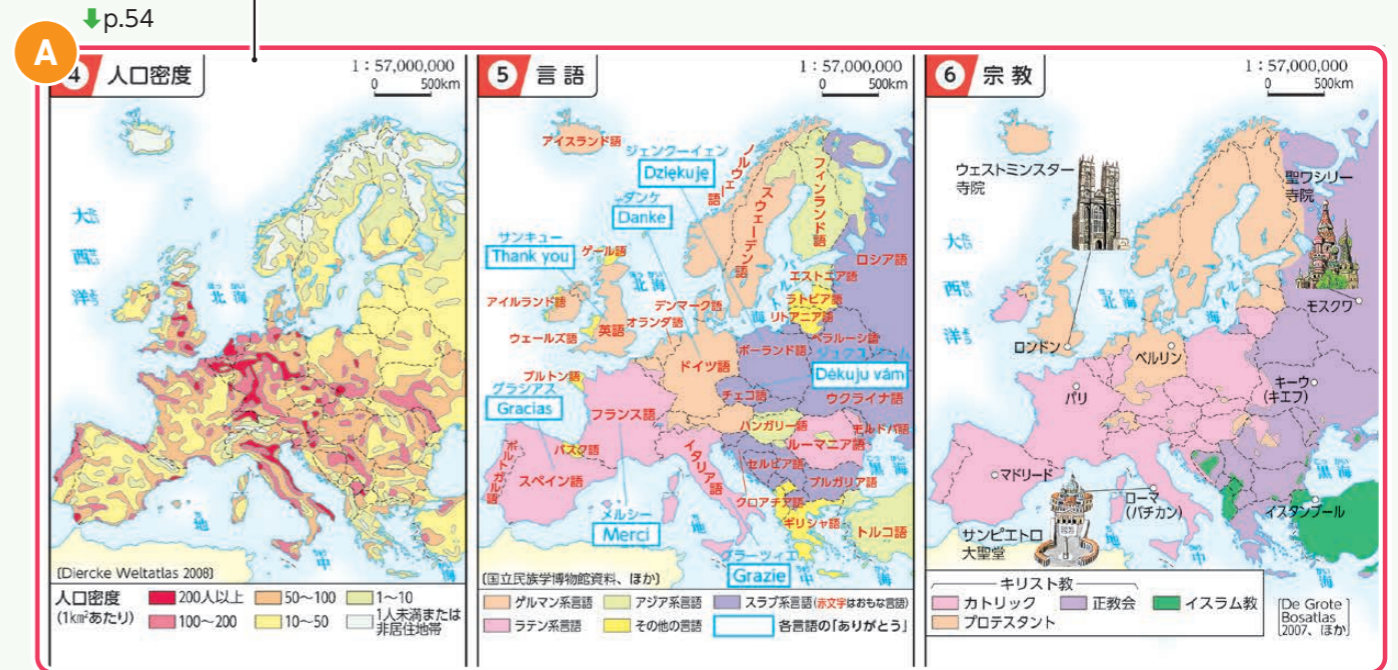
資料図を同縮尺で示すことで複数の図を比較・関連させて考察できます。

資料図 項目別掲載一覧は、本資料 p.55-56

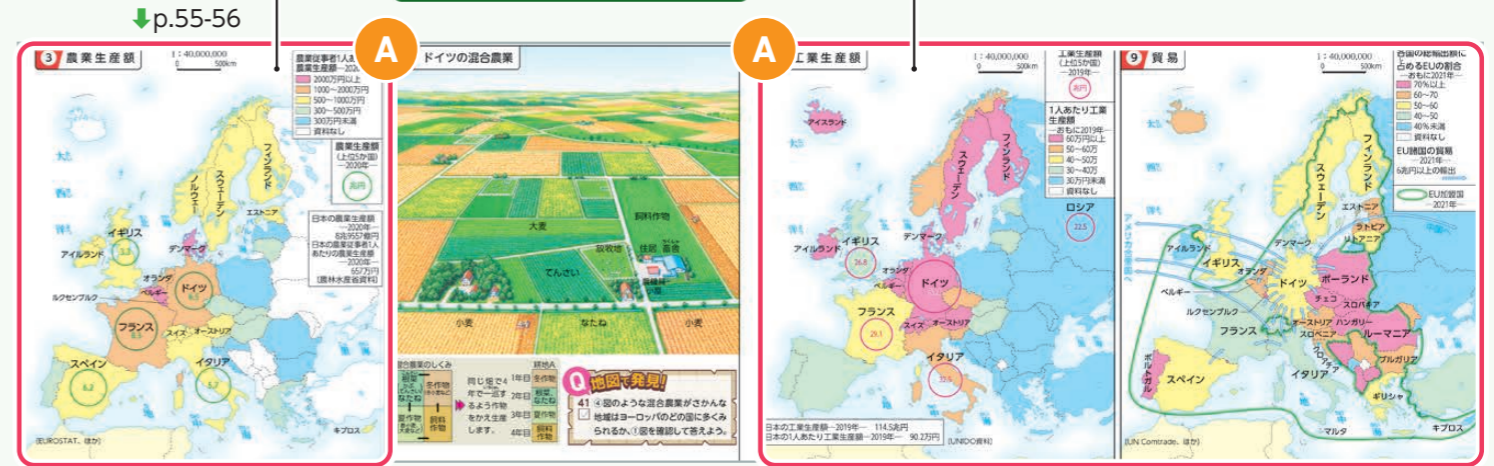
すべて同縮尺



すべて同縮尺



すべて同縮尺



都道府県や地方の産業の特徴を捉える棒グラフを設置しています。

A 比較を通して地域の特徴がわかる資料図

- 世界の主題図では、国や州ごとに自然環境(地形・気候)、人口密度、言語、産業を可能な限り同縮尺で示しています。日本の主題図では、自然(地形)、降水量、人口分布、産業、工業・交通の5図を設置しています。
- 比較することで、分布の特徴や事象間の因果関係を関連付けながら考察できます。

「個別最適な学び」を支援するコンテンツ

一人一台端末で活用できるQRコンテンツ

学習内容の習得や、生徒の調べ学習を支援するコンテンツを971用意し、「個別最適な学び」を支援します。地図帳に掲載しているQRコードからアクセスできるようにしています。

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

こちらからお試しいただけます。



URL : <https://www.tks46.jp/07jhs/map>



↑メニュー画面

QRコンテンツ設置箇所一覧

コンテンツ	教科書掲載ページ	収録数	
1 地図の基礎・基本	p.4, 5, 7	10	NEW
2 小学校の振り返り(クイズ付き)	p.4	387	増補
3 SDGs	p.8	8	NEW
4 世界の地図・資料	p.29, 47, 53, 65, 72, 79	27	増補
5 日本の地図・資料	p.81, 83, 87, 93, 95, 97, 103, 111, 114, 117, 119, 129, 143, 151, 155, 157, 163, 167, 169, 171, 173, 196	10	増補
6 地域別資料	p.23, 45, 49, 61, 71, 77, 91, 101, 115, 124, 137, 141, 153, 197	—	増補
7 地図帳主題図一覧	p.4	11	NEW
8 統計資料	p.6, 177, 179, 181	161(世界74, 日本87)	更新
9 地域見える化GISジオグラフ	p.4	79テーマ	NEW
10 NHK for School	p.4	92	増補
11 他分野教科書リンク	p.109, 159	35	NEW
12 リンク集	p.161, 195	52	NEW
13 「地図で発見!」解答・解説	p.6	6	NEW
14 白地図	p.4	93(世界32, 日本61)	NEW
		全971点	

NEW

地図の基礎・基本

一般図・鳥瞰図・主題図それぞれの見方をアニメーションで学習することができます。

小学校の振り返り(クイズ付き)

小学校の学習を振り返ることができます。

世界の地図・資料

世界全図(行政図)・逆さ世界全図・州別衛星画像・世界のおもな国(英語・ポルトガル語)・世界の鳥瞰図を収録しています。

日本の地図・資料

地方別地図・基礎主題図・歴史地図・日本の気候(四季の動画)を収録。鳥瞰図は文字なしで表示もできます。

NEW

SDGs

SDGsの17のゴールや地図帳内の「SDGsアイコン」の対照表を収録しています。

統計資料

世界と日本の統計資料を収録しています。並び替えや、円グラフ、地図表示も可能です。

NEW

地図帳主題図一覧

地図帳の主題図を項目別に収録しています。歴史アイコン・公民アイコン一覧も確認できます。

地域別資料

世界・日本のさまざまな資料を地域別に分類して収録しています。

NEW

地域見える化GISジオグラフ

統計データを地図上にグラフ化できるWebGIS教材です。

NHK for School

動画へのリンクを地域別に分類して収録しています。

NEW

他分野教科書リンク

学習テーマ別に、地理・歴史・公民教科書の関連ページを収録しています。

NEW

リンク集

国土地理院・気象庁の各コンテンツへのリンクや、SDGs 学習に役立つリンク集を収録しています。

NEW

「地図で発見!」解答・解説

「地図で発見!」の解答とワンポイント解説を収録しています。

NEW

白地図

さまざまな白地図を収録しています。

さまざまな学習環境に配慮

特別支援教育・インクルーシブ教育への配慮

誰もが見やすい地図を実現するために、さまざまな工夫を凝らしています。

↓p.103-104



A ユニバーサルデザインフォント

- 書体を、**可読性の高いユニバーサルデザイン(UD)フォント**にしています。その中でも、とくに**読みやすい丸ゴシック系**を多用しています。
- 重要な国名や主要都市名など、地名には**白色系の縁取り**を付けて、読みやすさを追究しています。

B カラーユニバーサルデザイン

- 地図やグラフの色づかいを全面的に見直し、**色覚特性のある生徒にも判別しやすく**しています。
- 「田」や「畑」、「果樹園」などには、**色の下に紋様(地紋)**を入れて読み取りやすくしています。

タイトル ↓p.29-30 ページ番号



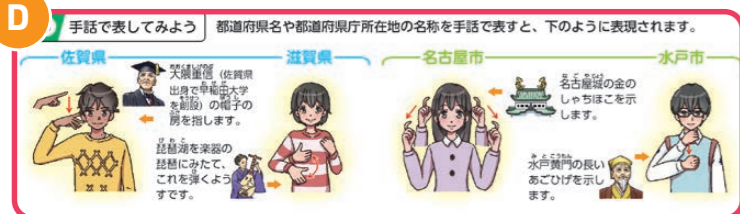
C レイアウトの統一

- タイトルやページ番号、インデックスはそれぞれの位置を原則固定し、**レイアウトの統一**を図っています。また、確認しやすいように各パーツの**デザインも大きく**しています。

D 手話による地名の表現

- 聴覚障がいのある生徒やインクルーシブ教育などに配慮し、**地名を手話で表すコーナー**を設置しています。

↓p.196



特別支援教育のための地図帳

『拡大教科書』(無償給与対象)

- ▶ 中学校用教科書の拡大教科書を発行しています。地図帳の拡大教科書は、元の地図帳の紙面を単純に拡大しただけでなく、**主要な地名を大きく目立たせ、レイアウトを見やすく改善**しています。

■ ページ数の比較 (令和3年度版中学校用地図帳の場合)

通常教科書の地図帳	拡大教科書の地図帳(3冊分)
全188ページ	全710ページ (①244ページ+②224ページ+③242ページ)

■ 同サイズでの紙面の比較 (例)



↑通常教科書の地図帳

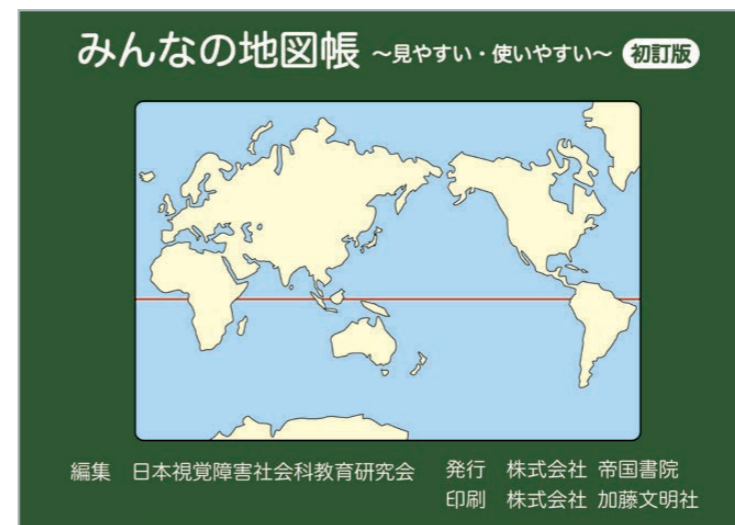


↑拡大教科書の地図帳

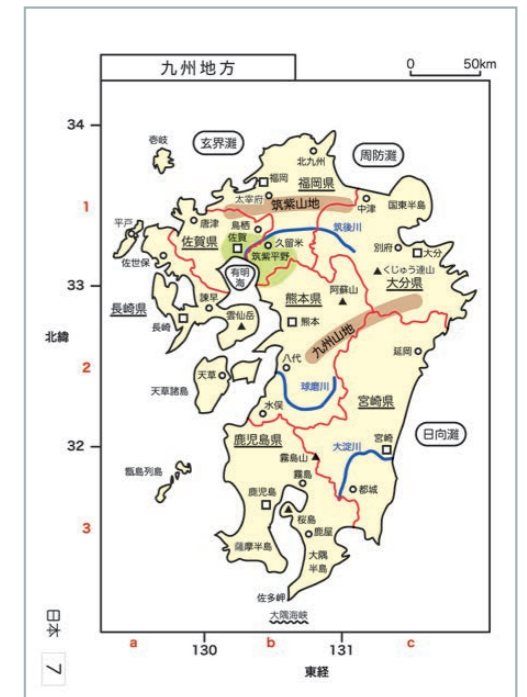
『みんなの地図帳～見やすい・使いやすい～初訂版』(有償)

- ▶ 記載内容を大幅に精選し、文字の置き方や大きさ、色づかいなど、**見やすくなる工夫**を凝らしています。

編集：日本視覚障害社会科教育研究会
発行：帝国書院



編集 日本視覚障害社会科教育研究会 発行 株式会社 帝国書院
印刷 株式会社 加藤文明社



サポート

① 教師用指導書

サンプルはこちら



URL : <https://www.teikokushoin.co.jp/jhs/07shidouso/>

紙媒体で提供する活用編とワンポイント解説編、およびコンテンツをダウンロードして使う指導書Webサポートの3点セットで、毎日の授業をサポートします。

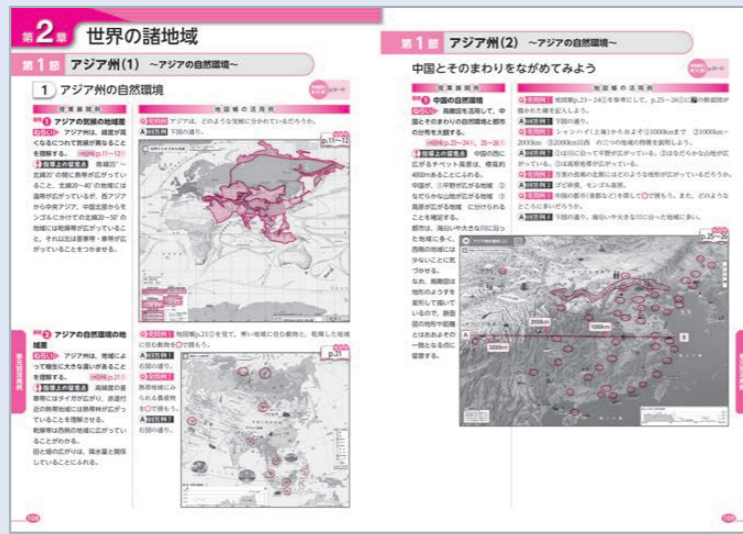
※各コンテンツの内容や名称は、変更になる可能性があります。

活用編

毎時の授業で使える活用例集

- 地理の教科書の配列構成に合わせて、1時間の授業で使える活用例を示しています。
- 歴史的分野・公民的分野での活用例や、年間指導計画案を掲載しています。
- 初めて地図指導をする先生向けのマニュアル「スタートアップガイド」「地図帳Q&A」のページもあります。

→ (画像は令和3年度版)



ワンポイント解説編

地名のマメ知識&資料解説集

掲載地名や記号のワンポイント解説を掲載しています。主題図には、「さらに深めた解説」として図から読み取れることや、図の背景の解説も入れています。

→ (画像は令和3年度版)



ポイント

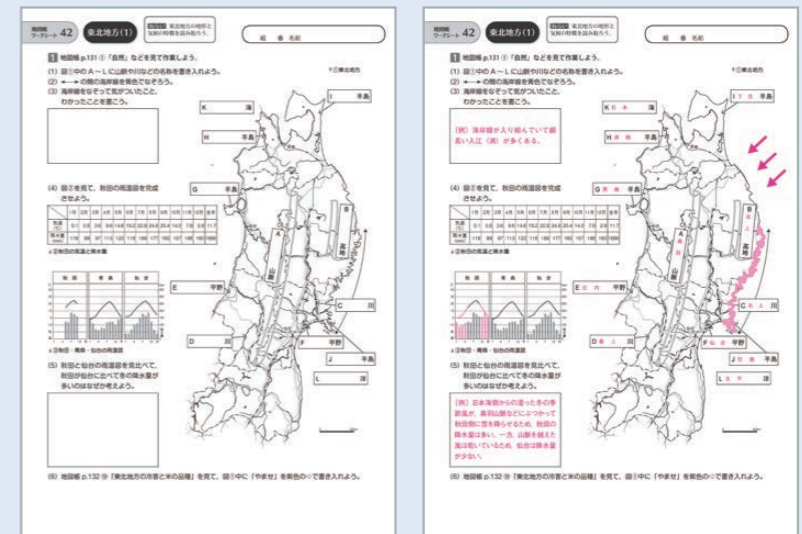
- ① 「活用編」は社会科の単元に対応し、地図帳を使った指導例を掲載しています。
- ② 「ワンポイント解説編」は授業で使えるネタが満載です。もう一歩踏み込んだ地図帳活用の参考になります。

指導書Webサポート

ワークシート

<全45点> PDF

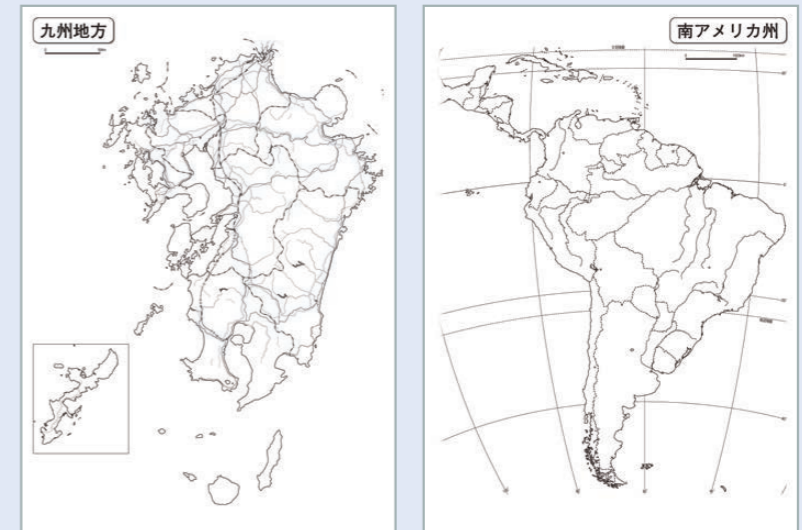
地図帳に対応したワークシートをダウンロードできます。解答例もあります。



白地図

<全32点> PDF

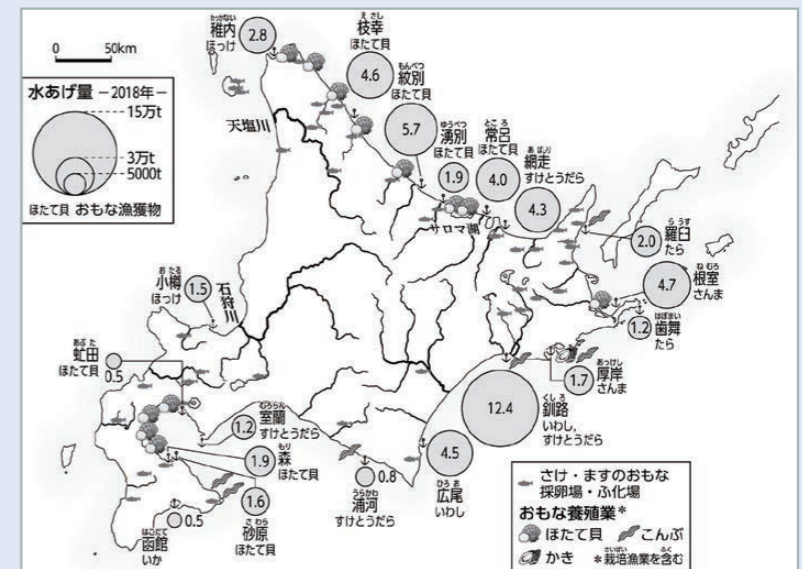
地図帳と同じ図取りの白地図をダウンロードできます。テストやプリント作成時に活用できます。



モノクロ図版集

<全158点> JPEG

地図帳に掲載しているおもな資料のモノクロ画像データをダウンロードできます。



その他、色別地形地図リンク集・年間指導計画案・評価問題(テスト例)も収録しています。

サポート

② デジタル教科書・教材

体験版はこちら
(2024年5月以降
お試しいただける予定です。)



URL : https://ict.teikokushoin.co.jp/07jh_campaign/trial/index.html

授業から家庭学習まで、生徒の学びをトータルサポートします。

① 学習者用 デジタル教科書

- 紙の教科書と同一の内容を収録。
- 拡大・縮小や書き消し、保存などの基本機能は標準装備。
- 特別支援機能は未搭載。
- 学習ツールや各種コンテンツは収録されていません。

② 学習者用 デジタル教科書+教材

- ①の機能はすべて収録。
- 教科書に準拠したコンテンツ集を収録。
- 特別支援教育対応「みんなの地図帳」(→本資料p.44)を収録。

③ 指導者用 デジタル教科書(教材)

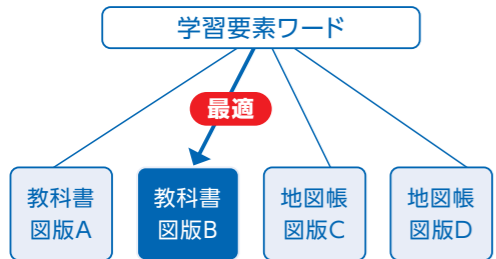
- デジタル教科書とデジタル教材の一体型。
- ②と搭載機能は同一。
- 特別支援教育対応「みんなの地図帳」(→本資料p.44)を収録。

学習ツール **NEW** ~「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現させる新機能~

学びコネクト

~学習要素ワードの検索機能~

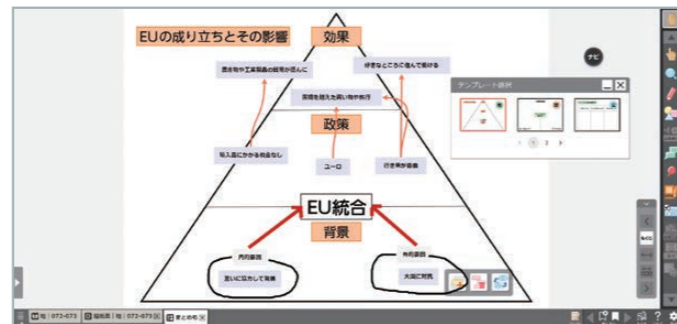
教科書の重要語句(=学習要素ワード)を検索すると、関連する紙面や図版を分野を超えて閲覧できる機能です。書目間連携が可能となり、複数の資料から生徒が主体的に学習に適した資料を選択することができます。



まとめも

~社会科思考ツール~

教科書本文から語句を抜き出して、オリジナルの思考ツールにまとめることができる機能です。自分の考えを整理・構造化し、他者との意見交換を踏まえて再調整することができます。

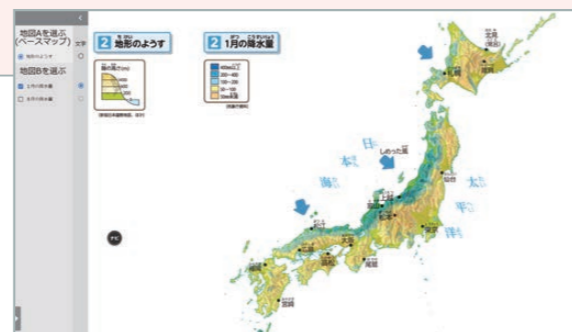


注目コンテンツ

主題図コンテンツ **NEW**

各州や各地の主題図を「分ける」「比べる」「重ねる」の3つの手法で、さまざまな視点から読み解くことができます。

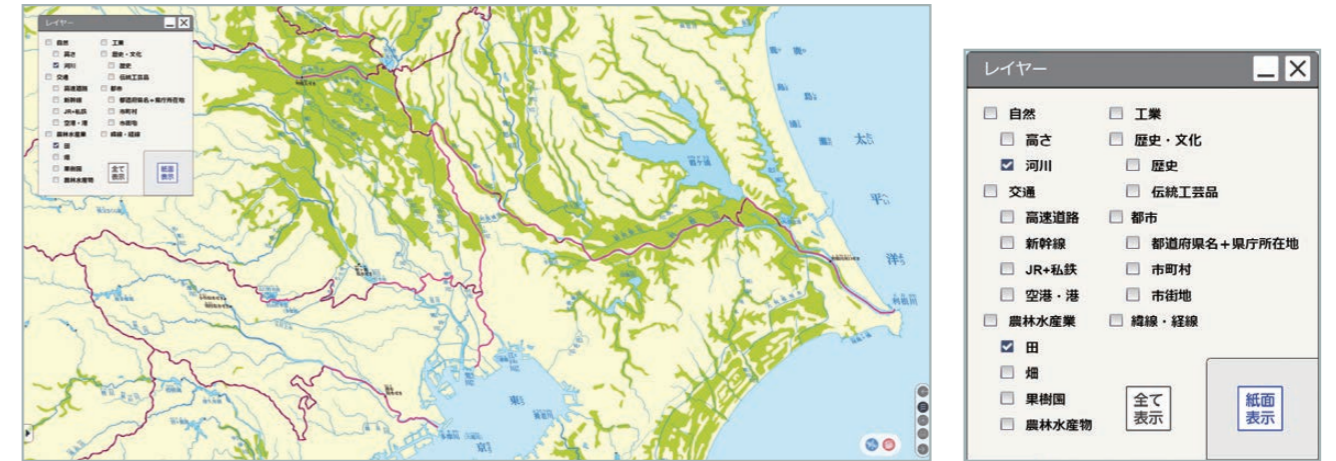
※①学習者用デジタル教科書には収録されません。



おもな指導者用・学習者用共通コンテンツ

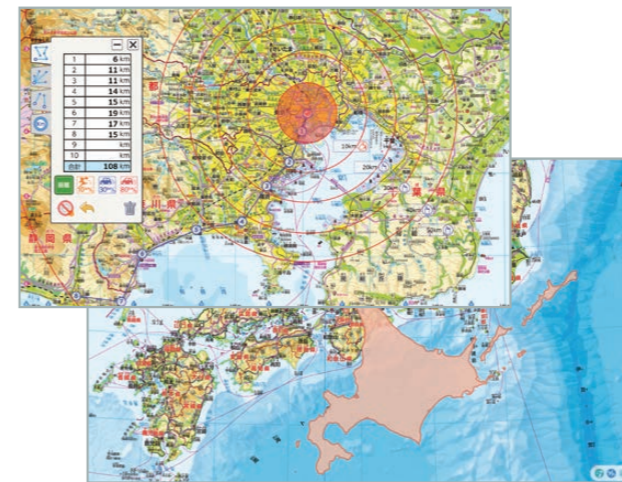
レイヤー切り替え

自然や交通、地名など、表示要素を絞り込んだり、複数の要素を組み合わせていたりすることで、相互の関係性が捉えやすくなります。



距離測定・面積比較

地図上で距離測定や面積比較ができるため、大きさや距離感が身に付きます。



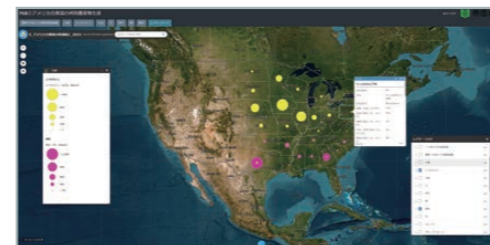
雨温図

世界92都市、日本52都市の雨温図データを表示できます。2つの都市を比較表示できます。



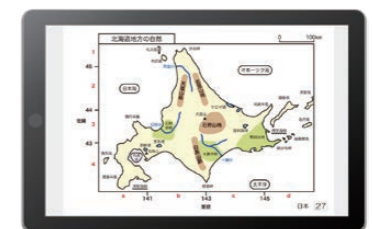
統計見えマップ **NEW**

世界・日本の統計データ(約800項目)を地図化できるデジタルコンテンツです。



デジタル版「みんなの地図帳」 特別支援教育対応地図

特別支援教育に対応した、見やすく使いやすい地図帳「みんなの地図帳」(→本資料p.44)のデジタル版を収録しています。



※開発中のため、内容は一部変更になる場合がございます。

特色一覧

①教育基本法との対応

下表のデータは
こちら
[Excelデータ]



教育基本法第二条	特に意を用いた点や特色 ※(青字)は地図帳のページ
第一号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求め、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界への関心を高められる州別鳥瞰図 (p.29-30、47、53-54、65-66、72、79-80) ● 世界各州にイラスト付きの鳥瞰図を掲載しており、各州の地域的特色を大観できる。 ● 地形だけではなく、世界各国の自然環境や生活・文化、産業などさまざまな特色を視覚的に読み取ることができる。 ● 小学校からの橋渡しとなるように、親しみやすいイラストを多数掲載している。 世界・日本の新しい動きが読み取れる資料 <ul style="list-style-type: none"> ● 携帯電話の普及などのICT関連、再生可能エネルギーや電気自動車など、国内外の新しい動きへの理解が深まる主題図を掲載している。(p.11-12、48など) 人々の営みを通じた日本の国土理解ができる地図表現(p.81-154) <ul style="list-style-type: none"> ● 日本の地図では、土地の高さによる色分け(等高段彩表現)と、土地の使い方による色分け(土地利用表現)を併用している。 ● 多彩な絵記号を配することで、地域の様子や地域における人々の暮らし、地域で産する農産物・工業製品などを端的にわかるようにしている。 ● 農業や工業に関する主題図・鳥瞰図を多数設け、日本各地域の農林水産業や工業の様子、そこでの人々の努力や工夫などを理解できるようにしている。 鮮明で美しい印刷と軽量化に努めた用紙(全編) <ul style="list-style-type: none"> ● 独自のクサ色(黄緑色)のインキを加えた5色で印刷し、田や畑などの土地の様子(土地利用)を鮮やかに表現している。 ● 軽くて耐久性に優れた地図帳専用用紙を開発し、生徒の日々の持ち運びの負担にならないように配慮している。
第二号 個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	ユニバーサルデザイン(UD)に配慮した見やすい地図(全編) <ul style="list-style-type: none"> ● 地図帳全編にわたってユニバーサルデザインを採用している。色や文字の書体・大きさに加えて、絵記号のデザインやレイアウトの統一にも配慮している。 深い学びや豊かな創造性につながる充実した資料 <ul style="list-style-type: none"> ● 同じ縮尺の主題図を並べ、変化や関係性などを追究できるようにしている。(p.31-32、48、67-68、124など) [地理的な見方・考え方]を働かせられる問い「地図で発見！」 <ul style="list-style-type: none"> ● 学習活動を通して「地理的な見方・考え方」を働かせられ、地図活用の技能(スキル)が身につく問いコーナー「地図で発見！」を全156問設けている。(p.49、104、159など) ● 生徒が一人でも主体的に取り組めるようになっており、中には、生徒同士の対話を意識した問いも入っている。(p.70、127、149、174など) 個別最適な学びを支援するQRコンテンツ <ul style="list-style-type: none"> ● QRコード(計56か所、全971コンテンツ)を設置し、授業以外の自学自習に活用できるように配慮している。(p.4-6など) インクルーシブ教育への配慮 <ul style="list-style-type: none"> ● 「手話で表してみよう」では、都道府県名や都道府県庁所在地名を手話で表している。(p.196③)

教育基本法第二条	特に意を用いた点や特色 ※(青字)は地図帳のページ
第三号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	平等な社会の実現や社会参画への意識を高められる工夫 <ul style="list-style-type: none"> ● 問いコーナー「地図で発見！」では、生徒自らが世界の諸課題について考え、よりよい社会のあり方について検討したり、他の生徒と話し合ったり、協働して取り組めるような課題や作業を提示している。(p.127、149、159、174など) ● 環境問題や脱炭素への動きなどの資料をはじめ、世界と日本の諸課題について深く考察できる主題図を多数設けている。(p.9-14など) ● p.21「各国語のあいさつの例」など、男女のキャラクターをほぼ同数で掲載し、男女の平等を意識できるようにしている。(p.1-8、21①@など)
第四号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	自然災害・防災への意識を高められるさまざまな工夫 <ul style="list-style-type: none"> ● 日本で起こり得る自然災害と、対策についてわかりやすく示している。(p.159-162など) ● 地震と火山の分布に関する資料に加えて、気象災害に関する地図や資料を充実させている。(p.159-162など) ● 日本の各地方の主題図において“防災”をテーマとする資料を設けている。(p.92、102、103、118、125、140、142、154) 持続可能な社会について考察できる巻頭特集や主題図 <ul style="list-style-type: none"> ● 巻頭では、世界全体の課題となっている環境問題や脱炭素への動き、食料問題や紛争問題に関する特集ページを設けている。その他にも、主題図ごとにSDGsの視点で課題を追求する工夫をしている。(p.8-14など) ● 「世界自然遺産」「おもなラムサール条約登録湿地」「貴重な動物・植物」「天然記念物」「世界ジオパーク」の記号を地図中に記載し、守るべき自然環境への関心を高められるようにしている。(本書全体) ● かけがえのない自然環境の保全や、環境問題に対する関心を高められるように、さまざまな資料を掲載している。(p.9-12など)
第五号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	多角的・多面的に世界を見る視点が養える工夫 <ul style="list-style-type: none"> ● 世界との時差が端的にわかるような工夫を施したり、大陸側から日本を眺めた鳥瞰図を設置したりすることで、多面的・多角的に世界を見る視点が養えるようにしている。(p.1-3、35-36など) ● 世界の宗教や料理など、世界の文化を紹介する資料を掲載し、他国の文化への理解が深まるようにしている。(p.19-22) ● 多文化共生の視点からすべての国の国旗を掲載し、国旗への関心が高められるようにしている。(p.27、37、41、45、49、59、62、71、75、77) ● 世界各地と日本とのつながりを示した資料「日本との結びつき」(全10か所)を設置し、国際社会に関心をもてるように配慮している。(p.32①、35②、40、43、44、48、56、68、74⑦⑧、80) 地域に根付いた日本の伝統と文化が学べる工夫 <ul style="list-style-type: none"> ● 各地に根付いた伝統的工芸品や地場産業の絵記号、日本国内の世界文化遺産を記載し、日本の伝統と文化への関心が高まる内容を地図中に盛り込んでいる。(p.84-152) ● 日本の伝統と文化に関する特設ページを設けている。(p.174) 日本の領土を正しく理解できる豊富な地図資料 <ul style="list-style-type: none"> ● 日本の領土に関する資料を充実させ、日本固有の領土は縮尺の大きな地図で確認できるようにしている。(p.81-84、95③、152、197-198) ● 北方領土、竹島、尖閣諸島について、写真付きで取り上げて、国土の正しい理解が図れるようにしている。(p.81-83、197) ● 日本の領土や排他的経済水域を見開きで大きく掲載している。また、東西南北端の島については写真と地図を併用してわかりやすく示している。(p.197-198) ● 平和学習で活用できるように、沖縄島南部の鳥瞰図や長崎市の鳥瞰図、広島市の都市図を掲載している。(p.85②、p.92⑨、95②)

特色一覧

② 検討の観点から見た内容の特色

下表のデータは
こちら
[Excelデータ]



観点	観点の内容	本書の特色 ※(青字)は地図帳のページ
教育基本法との対応	教育基本法との対応が十分に図られているか。	●教育基本法第一条の目標および教育基本法第二条第一～五号に示された内容について、 社会科の目標や学習内容に沿った指導を効果的に行うことができる ように構成されている。(詳細は本資料p.49-50「教育基本法との対応」を参照)
学習指導要領との対応	学習指導要領の目標・内容の趣旨に沿ったものであるか。	●基本的に地理的分野の学習指導要領の目標・内容に沿っており、かつ 歴史的・公的分野の学習でも活用できる内容 となっている。(詳細は本資料p.54「学習指導要領の項目に沿った編集上の特色」を参照)
内容の配列・分量・程度	全体の分量は、年間標準時数から見て適切か。各単元の配当時数は適切か、系統性が考慮されているか。	●地理的分野の学習に合わせて、世界は州別に、日本は地方別に構成されている。 資料は、地域の特色が適切に理解できる題材が選定 されている。また、表現も平面の地図表現に加え、 鳥瞰表現が多 用され、 内容が焦点化 されて理解しやすくなっている。(p.29-30など) ●世界の州は、原則として「一般図」→「鳥瞰図(ながめてみよう)」→「資料図」という配列で構成されている。(p.27-32、87-92など) ●世界の一般図は世界全州、日本の一般図は日本の全地方を網羅し、各州・各地方の特色を具体的に読み取れる資料が掲載されている。
	内容の程度・範囲および文章は、生徒の発達段階から見て適切か。	●地図中の 地名の漢字には、すべてふりがなが付され、正しく読めるよう 配慮されている。 ●学習上重要な「国名」「首都名」には欧文が併記され、 国際化・英語科への対応 がなされている。 ●「国名」や「首都名」、「都道府県名」や「都道府県庁所在地名」など、学習上重要な地名は大きく太い文字で記載され、他の地名よりも目立つように配慮されている。 ●日本の一般図の記載要素のうち、産物や環境に関するものは絵記号が用いられ、読み取りやすく表されている。(p.103-104など)
	学習を効果的かつ効率的に進めるための工夫がなされているか。	●世界の各州には、自然環境や生活・文化、産業などの イラストを配した鳥瞰図(全6か所) があり、 地域の特色が視覚的に捉えられ、大観 できるように工夫がなされている。(p.29-30、47、53-54、65-66、72、79-80) ●日本の一般図(地方別地図)は、九州、中国、四国、近畿、中部、関東、東北、北海道の8地方に区分され、各地方の様子が読み取れる。また、100万分の1の縮尺で統一されている。 ● A4判の利点を生かし、地域の結びつきをより重視した図取り となるように配慮されている。(p.105-106など) ●原則、紙面の左上にタイトル、ページ上部にページ番号、右端にインデックスが配置されるように、 レイアウトの統一(構造化) がなされていて、生徒が探しやすいうように配慮されている。 ●開いているページの地域が、世界・日本の中でどのあたりに位置するかが一目でわかるように、原則として地図ページには 位置図が掲載 されている。
内容の扱い／学習活動	課題解決的な学習を行うための構成・工夫がなされているか。	●問い「 地図で発見! 」(計103か所、全156問)が設置されている。地図の読み取りなどの地理的技能が身に付くだけでなく、「 社会的な見方・考え方を働かせた学習に活用 できる。(p.49、104、159など) ●巻頭と巻末の資料図では、紙面のタイトルわきに「 主題学習 」を設け、そのページで扱うテーマを追究する際の着眼点を示している。(p.9、155など)
	「主体的・対話的で深い学び」を実現するための構成・工夫がなされているか。	●世界の各州には、自然環境や生活・文化、産業などの イラストを配した鳥瞰図(全6か所) があり、興味・関心を高めて学習に取り組めるよう工夫している。(p.29-30、47、53-54、65-66、72、79-80) ● QRコード(計56か所、全971コンテンツ) が設置されている。NHK for School(動画)、世界・州別衛星画像、日本の基礎主題図など、 生徒が主体的に学習し、資料活用能力を高められるコンテンツ が多数収録されている。(p.4、49など) ●自ら学習に取り組みやすくなるように、問い「 地図で発見! 」(計103か所、全156問)が本全体に設置されている。(p.49、104、159など) ●巻頭と巻末の資料図では、紙面のタイトルわきに「 主題学習 」を設け、そのページで扱うテーマを追究する際の着眼点を示している。(p.9、155など)
	基礎的・基本的な「知識および技能」を確実に習得するための工夫がなされているか。	●地図帳の構成や、方位、地図記号、縮尺、さくいんの使い方など、地図帳の基本的な見方・使い方がわかりやすく解説された「 この地図帳の凡例 」「 この地図帳の使い方 」が巻頭で4ページにわたって設けられている。(p.4-7) ●実際の地形図を取り上げ、作業を通して地形図の見方が身に付けられるコーナーが設けている。(p.195) ●要所に配された問い「 地図で発見! 」(計103か所、全156問)から、地図の読み取りなどの地理的技能が身に付く。(p.49、104、159など)

観点	観点の内容	本書の特色 ※(青字)は地図帳のページ
内容の扱い／学習活動	深い学びを実現させるための「 思考力、判断力、表現力等 」を育成するような配慮がなされているか。	●要所に配された問い「 地図で発見! 」(計103か所、全156問)は、「 社会的な見方・考え方に 」に着目して作成されている。こうした「 見方・考え方を働かせる 」ことで、「 思考力、判断力、表現力 」の育成につながる工夫がなされている。(p.49、104、159など) ●資料図は、 比較を通して地域の特色が考察 できるように、自然や人口などの主要素については 縮尺が統一 されている。(p.31-32①-⑩、48④-⑦、67-68②③⑥⑦など) ●世界地図には、世界の国々と日本の大きさ比べや、緯度や経度による位置関係の比較ができるように、随所に同緯度・同縮尺の日本地図が掲載されている。(p.45、49、64など) ●巻末の世界の統計資料は、州別、項目別に色分けがなされ、上位国の数値は赤字、下位国の数値は青字で示されているなど、数値的に各国の特色や差異を捉えやすいように配慮されている。(p.177-179) ●巻末の日本の統計資料は、地方別、項目別に色分けがなされ、上位県の数値が赤字で示されているなど数値的に地域の特色や差異を捉えやすいように配慮されている。また、県別統計資料には 地方別合計欄 があり、地方同士の比較が容易に説明できるように配慮されている。(p.181-182)
	「 思考力、判断力、表現力等 」の育成につながる 社会的な見方や考え方を働かせる ための配慮がなされているか。	●要所に配された問い「 地図で発見! 」(計103か所、全156問)は、「 社会的な見方・考え方を働かせる視点に基づいて 作成されている。(p.49、104、159など)
	生徒の 興味・関心を喚起 させ、「 主体的に学習に取り組む態度 」を育成できるような配慮がなされているか。	●世界の各州には、自然環境や生活・文化、産業などの イラストを配した鳥瞰図(全6か所) があり、 地域の特色を視覚的に捉えられる工夫 がなされている。(p.29-30、47、53-54、65-66、72、79-80) ● QRコード(計56か所、全971コンテンツ) が設置されている。NHK for School(動画)、世界・州別衛星画像、日本の基礎主題図など、 生徒が主体的に学習し、資料活用能力を高められるコンテンツ が多数収録されている。(p.4、49など) ●随所に 修学旅行や校外学習で活用できる資料が掲載 され、主体的に地図帳を活用できるように配慮されている。(p.109-114など)
	小学校・高等学校との接続や関連 に配慮がなされているか。	●小学校で身に付けた技能を発展させた「 この地図帳の使い方 」が設置されている。(p.5-7) ●QRコンテンツ内に、小学校で学習した方位、地図記号、距離などの基礎的な知識を確認することができるコンテンツ「 小学校の振り返り 」が収録されている。
	他分野との接続や関連 への配慮がなされているか。	●地理的分野だけでなく、歴史的・公的分野でも幅広く活用できる資料が盛り込まれている。(詳細は本資料p.54「学習指導要領の項目に沿った編集上の特色」を参照)
	我が国の 伝統・文化、宗教に対する理解 を深められるような配慮がなされているか。	●日本の一般図では、 各地方の伝統・文化に関する絵記号が多数掲載 され、 伝統・文化の継承と発展 について考えられるように配慮されている。 ●日本の伝統・文化の例として、「 伝統的な町並みの保存 」、「 地域による方言の違い 」、「 日本の伝統的な料理 」など、 伝統・文化に関する地図や写真が豊富に掲載 されている。(p.174)
	我が国の 領土・領域を正しく理解 できるような配慮がなされているか。	●東西南北端を含む日本の領土や、広大な排他的経済水域を捉えられる地図や、 領土・領海・領空・接続水域などの領域の概念が端的に理解 できる 模式図が掲載 されている。(p.197-198) ● 我が国固有の領土 である北方領土・竹島・尖閣諸島が写真付きで解説されている。(p.81-83、197)
	補充的な学習や発展的な学習 に対する工夫・配慮がなされているか。	●資料は、 地域の特色が適切に理解 できる 題材が選定 されている。そのため、教科書で取り扱われる内容をより深められる。(p.31-32、91-92など) ●社会科の学習のみならず、 修学旅行や校外学習でも活用 できる資料や都市図が多数掲載されている。(詳細は本資料p.23-24を参照)
	生徒が家庭でも 主体的に自学自習 できるような配慮がなされているか。	●地図帳の構成や、方位、地図記号、縮尺、さくいんの使い方など、地図帳の基本的な見方・使い方が 巻頭の「この地図帳の凡例」「この地図帳の使い方」 で4ページにわたってわかりやすく解説されているため、 自学自習の際の指針 となる。(p.4-7) ●家庭学習でも地図帳を主体的に活用できるように、 QRコード(計56か所、全971コンテンツ) が設置されている。(p.4、49など) ●要所に配された問い「 地図で発見! 」(計103か所、全156問)は、地図帳を主体的に活用できる内容となっている。(p.49、104、159など) ● 軽い地図帳専用紙 を採用し、かつ堅牢な製本様式が用いられている。
	今日的な課題への対応	環境教育 に関して、どのような配慮がなされているか。
防災 に関して、どのような配慮がなされているか。		●日本の各地域資料図には、「 SDGs 防災 」マークが付いた資料図が多数掲載されている。(p.125③、140②など) ●防災対策にとどまらず、 復旧・復興の視点 も取り上げている。(p.142②) ●「日本の自然災害・防災」のページが設けられ、 日本で起こり得る自然災害と、それらへの対策が理解 できるように工夫されている。また、 ハザードマップと地形図の比較 から、防災における地図の有用性を理解できるように工夫されている。(p.159-162)

観点	観点の内容	本書の特色 ※(青字)は地図帳のページ
今日的な課題への対応	人権・平和教育の推進のために、どのような配慮がなされているのか。	<ul style="list-style-type: none"> ●日本・世界の諸地域の多様な姿を通して、各地にはさまざまな立場や考え方があることを認識し、多様な価値観や文化に対する理解と寛容な態度を育てるように配慮されている。 ●「各国語のあいさつの例」などに掲載した生徒のキャラクターは、男女の比率がほぼ等しくなるように配慮されている。(p.1-8、21) ●「さまざまな言語(公用語)」、「さまざまな宗教」、「アイヌ語地名と開拓の歴史」など人権の学習に資する資料が掲載されている。(p.21-22、154⑥など) ●平和教育で活用できるように、沖縄島南部の鳥瞰図と長崎市の鳥瞰図、広島市の都市図が掲載されている。(p.85②、p.92⑨、95②)
	グローバル化に関して、どのような配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●世界各地と日本の経済的な結びつきがわかる資料「日本との結びつき」(全10か所)が掲載されており、現在や将来の社会が直面する課題や「持続可能な社会」について考えられるように工夫されている。(p.32⑩、35②など)
	少子高齢化に関して、どのような配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●少子高齢化の社会的背景や影響について考察できる資料図が掲載されている。(p.163-164、182①など)
	情報化に関して、どのような配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●情報通信技術の発展の現状を捉えられる資料が掲載されている。(p.48⑧など)
表記・表現	「持続可能な開発目標」(SDGs)に関して、どのような配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●「持続可能な社会」を実現するために、世界でどのような取り組みが行われているのかを捉えられる「地図で考える持続可能な社会」を7ページにわたって掲載している。(p.8-14) ●持続可能な開発目標(SDGs)の観点に基づいた資料が豊富に掲載されている。(全編)
	統計、挿絵、写真、図表などは鮮明、正確かつ適切であり、相互の関連が図られるなど学習効果を高めるための工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒の興味・関心を高め、地域の姿をより具体的にイメージできるように、鳥瞰図が多数掲載されている。(p.29-30など) ●世界の地図表現は黄緑色(クサ色)と茶色で、高さごとに色分けした等高線表現を用い、土地の起伏感が捉えられるように工夫されている。(p.27-28など) ●日本の地図表現は、国土理解に資するように、地域の生活や産業の様子がわかる土地利用表現と、地形がわかる等高線表現を併用している。(p.105-106など) ●世界・日本ともに地形が捉えやすいように、等高線表現にレリーフ(陰影)表現を合わせた立体感のある地図表現になっている。(全編) ●資料図は、比較を通して地域の特色が考察できるように、自然や人口などの主要素については縮尺が統一されている。(p.31-32、137-138など) ●世界地図には、世界の国々と日本の大きさや、緯度・経度による位置関係の比較ができるように、随所に同緯度・同縮尺の日本地図が掲載されている。(p.45、49、64など)
印刷・装丁等	紙質や印刷の鮮明さなど、生徒の利便性に配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●印刷は鮮明で、図・写真ともに細かな文字まで読み取りやすくなっている。 ●地図を美しく読み取りやすくするため、通常の4色印刷に黄緑色(クサ色)のインキを加えた5色刷りで印刷されている。 ●地図・写真が美しく鮮明になるように、反射を抑えつつ、裏写りしない紙が使用されている。 ●生徒の身体への負担に配慮するために、軽くて丈夫な地図帳専用紙が採用されている。
	造本は3年間の使用に耐えられる配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●表紙の材料は引っ張り、折りなどに強い用紙が使用されている。さらに、表面の摩擦・汚れを防ぐためにポリプロピレンシートが貼られており、長期間の使用に耐えられる。 ●製本は、ページの落丁を防ぐために、糸かぎりの方法が用いられるとともに、背に「寒冷紗」を巻いて強化し、3年間の使用に耐える丈夫な製本仕様になっている。 ●折り込みページの折り目部分がコーティングで補強され、折り込みページが切れ落ちることのないように配慮されている。
サポート	用紙・インキ等は、環境への配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●古紙および環境にやさしいフレッシュパルプが用いられている。また、植物油インキが使用され、環境保全に配慮されている。 ●針金を使わない糸かぎ製本により、資源を節約すると同時に、リサイクルしやすくなっている。
	デジタル教科書・教材や教師用指導書などのサポート体制はどのようになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●学習者用デジタル教科書、学習者用デジタル教科書+教材、指導者用デジタル教科書(教材)、教師用指導書、拡大教科書が令和7年4月までに発刊される予定である。

特色一覧

③学習指導要領の項目に沿った編集上の特色

下表のデータはこちら
【Excelデータ】



学習指導要領の内容	構成・内容の特色 ※(青字)は地図帳のページ
地理的分野全体を通して	<ul style="list-style-type: none"> ●A4判のダイナミックな紙面により、地域間の結びつきがより捉えやすくなっている。(全編) ●充実した世界の地図、資料図から、世界に関する地理的認識が深められる。また、さまざまな地域の事象を示した日本の地図、資料図から、国土理解が深まり、地域的特色が動的に捉えられる。(全編) ●地図帳の使い方、地形図の読み方が身に付けられる。(p.4-7、195) ●要所に配された問い「地図で発見！」(計103か所、全156問)から、地図の読み取りなどの地理的技能が習得できる。これらの問いは、「社会的な見方・考え方を働かせる視点に基づいて作成されている。(全編)
A 世界と日本の地域構成 (1) 地域構成 ① 世界の地域構成 ② 日本の地域構成	<ul style="list-style-type: none"> ●世界の大陸や海の分布、国々の位置関係などが大きく掲載され、地球規模で詳細に捉えられる。(p.15-18) ●我が国の国土の位置や世界との時差などが大きく掲載され、詳細に捉えられる。(p.1-3) ●我が国の国土の位置や領域、地方区分が大きく掲載され、正しく理解できる。(p.196-198など)
B 世界の様々な地域 (1) 世界各地の人々の生活と環境 (2) 世界の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> ●世界各地の人々の生活と環境について具体的にイメージしやすい世界の資料が豊富に掲載されている。(p.9-14、19-22) ●各地域に掲載された地図および資料図で、諸地域の生活と環境の特色が理解できる。(p.23-80) ●世界各地の自然環境や文化、産業の様子などを大観できる鳥瞰図が州ごとに設けられている。(p.29-30、47、53-54、65-66、72、79-80) ●植生と土地利用、気候、言語、宗教、人口、産業、日本との結びつきに関する資料が州ごとに豊富に掲載されている。(p.25-26など) ●世界全体の資料図や統計などの資料から世界の各地域の特色を多面的に捉えられる。(p.9-14、163-166、175-180)
C 日本の様々な地域 (1) 地域調査の手法 (2) 日本の地域的特色と地域区分 (3) 日本の諸地域 (4) 地域の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ●地形図の見方が身に付くページが設けられている。(p.195) ●一般図に掲載された「絵記号」で、身近な地域の特色を端的に読み取れる。(全編) ●世界の諸地域の多様性や地域的特色を大観した上で、世界と比べてみた日本の特色の理解に活用できる日本全体の資料図が豊富に掲載されている。(p.15-22、163-172) ●北方領土・択捉島から与那国島までが入る2つの地図(ともに縮尺500万分の1)によって、途切れることなく日本列島が見わたせる。(p.81-84) ●日本各地方の資料ページでは、基本となる自然(地形・気候)や人口、産業に関する資料に加えて、地域の様子が具体的にイメージできる鳥瞰図などが豊富に掲載されている。(p.91-92など) ●国土理解に資するように、地域の生活や産業の様子が捉えられる土地利用表現と、土地の高さがわかる等高線表現を併用した地図表現となっている。(p.119-120など) ●日本の一般図には、生産量や生産額が顕著な農産物や、大きな工場、伝統的工芸品など、地域の特色ある産業をより具体的に捉えられる「絵記号」が多数掲載されている。(p.87-88など) ●日本の都道府県や地方について、統計などの資料からその特徴が数値的に捉えられる。また、都道府県別統計資料には地方別合計欄があり、地方同士の比較ができるように配慮されている。(p.181-183) ●地形図の見方が身に付くページが設けられている。(p.195) ●一般図に掲載された「絵記号」で、身近な地域の特色を端的に読み取れる。(p.87-88など)
歴史的分野全体を通して	<ul style="list-style-type: none"> ●一般図に示された「重要な歴史地名・事項」から、歴史の舞台を確認できる。(p.27-154) ●歴史学習と関係が深いページや、地図・資料図のタイトル横に、「歴史アイコン」(全31か所)を設置している。(p.23②など)
A 歴史との対話 (1) 私たちと歴史 (2) 身近な地域の歴史	<ul style="list-style-type: none"> ●日本の一般図に掲載された「重要な歴史地名・事項」などから、身近な地域の歴史への関心を高められる。(p.86-152)
B 近世までの日本とアジア (1) 古代までの日本 (2) 中世の日本 (3) 近世の日本	<ul style="list-style-type: none"> ●京都市や奈良市、明日香村周辺や斑鳩町周辺に残る歴史的遺産の分布がわかる地図が掲載されている。(p.113-114) ●大陸から見た鳥瞰図で、古代からの大陸と日本との関わり、文化の影響などが捉えられる。(p.35-36) ●鳥瞰図「瀬戸内海周辺の歴史」では、古代から近世における主な港や航路、源平争乱の進路など、瀬戸内海の貿易・外交・争乱の歴史が捉えられる。(p.93-94) ●鳥瞰図「本州中央部と五街道」では、江戸時代の五街道とその全宿場が掲載されている。産業の発達にともない五街道などで各地が結ばれ、地域の特産品が全国に流通する様子が捉えられる。(p.117-118) ●マゼランやコロンブスなど、大航海時代の著名な人物の航路がわかる。(p.70、75-76)
C 近現代の日本と世界 (1) 近代の日本と世界 (2) 現代の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> ●日本の製糸業の拠点の一つであった昭和初期の諏訪湖周辺がわかる。(p.126⑦) ●第二次世界大戦中のアジアがわかる。(p.23②) ●20世紀のヨーロッパの国境の変遷がわかる。(p.49②) ●平和教育で活用できるように、沖縄島南部の鳥瞰図と長崎市の鳥瞰図、広島市の都市図が掲載されている。(p.85②、92⑨、95②) ●現在の民族問題や領土問題に関する資料が掲載されている。(p.13-14②、48⑤など) ●グローバル化によって世界中の交通や経済が結びつく様子がわかる。(p.167①、171①など)
公民的分野全体を通して	<ul style="list-style-type: none"> ●世界全体や諸地域の課題を把握し、国際協調の取り組みの重要性を認識できる。(p.8-14、23-80) ●公民学習と関係が深いページや、地図・資料図のタイトル横に、「公民アイコン」(全15か所)を設置している。
A 私たちと現代社会 (1) 私たちが生きる現代社会と文化の特色 (2) 現代社会を捉える枠組み	<ul style="list-style-type: none"> ●世界中のさまざまな宗教とその分布がわかる資料が掲載されている。(p.21-22②、26⑤、54⑥など) ●少子化・高齢化などの人口問題に関する資料が掲載されている。(p.163-164、182①など)
B 私たちと経済 (1) 市場の働きと経済 (2) 国民の生活と政府の役割	<ul style="list-style-type: none"> ●世界各地との経済的な結びつきがわかる資料「日本との結びつき」(全10か所)が掲載されている。(p.32⑩、35②など)
C 私たちと政治 (1) 人間の尊重と日本国憲法の基本的原則 (2) 民主政治と政治参加	<ul style="list-style-type: none"> ●大都市におけるマス・メディアや大使館などの集積がわかる資料が掲載されている。(p.135-136①) ●日本の政治の中心である、霞が関周辺の官公庁の密集や位置関係がわかる地図が掲載されている。(p.136③)
D 私たちと国際社会の諸課題 (1) 世界平和と人類の福祉の増大 (2) よりよい社会を目指して	<ul style="list-style-type: none"> ●世界の文化や宗教の多様性が理解でき、国際協調について考えることができる。(p.19-22) ●環境問題や持続可能な開発目標(SDGs)の観点に基づいた資料が豊富に掲載されている。(p.9-14、32⑩⑩など) ●日本の領域がわかる図が掲載されている。(p.197-198など) ●世界各地の戦争・紛争について考察できる資料が掲載されている。(p.41②③、p48⑤など) ●防災に関する地図や資料が随所に掲載されている。(p.92⑨、102⑨、107-108、133-134、159-162など)

特色一覧

④資料項目別掲載一覧

下表のデータは
こちら
[Excelデータ]



主題図の特色は、本資料p.39-40

下の表にはp.175-183の統計ページは含んでいません。

[凡例]

★：鳥瞰図 (世界・日本共通) アカ：日本との結びつき (世界)

ミドリ：環境 (世界・日本共通) オレンジ：防災 (日本)

※(青字)は地図帳のページ

World Overview Table with columns: 地域, 概観・地形, 気候, 生活・文化, 人口・都市・村落, 結びつき, 産業, 資源・エネルギー, 環境・防災, 歴史・政治・その他

Japan Overview Table with columns: 地域, 概観・地形, 気候, 生活・文化, 人口・都市・村落, 結びつき, 産業, 資源・エネルギー, 環境・防災, 歴史・政治・その他

特色一覧

資料項目別掲載一覧



『中学校社会科地図』の全体構成(もくじ)

ページ	おもな内容	地図帳ページ	本資料での掲載ページ
使い方・資料のページ	もくじ・世界の国々	1-3	—
	この地図帳の凡例/QRコンテンツを活用しよう	4	—
	この地図帳の使い方(1)(2)	5-7	35-36
	地図で考える持続可能な社会(1)(2)(3)(4)	8-14	28-30
	世界の地形/世界の気候	15-18	—
世界のページ	世界の生活・文化(1)(2)	19-22	—
	アジア州	23-24	—
	アジア州の資料(1)	25-26	—
	東アジア	27-28	—
	アジア州の資料(2)	29-30	5-6, 43
	中国の資料	31-32	—
	朝鮮半島	33-34	—
	東アジアと日本の交流の歴史	35-36	—
	東南アジア	37-38	—
	東南アジアの資料	39-40	—
	南・西・中央アジア	41-42	—
	南アジア・西アジアの資料	43-44	—
	アフリカ州・アフリカ州の資料(1)(2)	45-48	—
	ヨーロッパ州	49-50	25
	ヨーロッパ州中央部	51-52	—
	ヨーロッパ州の資料(1)(2)(3)	53-57	3-4, 26, 37, 40
	ロシア連邦とそのまわりの国々の資料	58	—
	ロシア連邦とそのまわりの国々	59-60	—
	南北アメリカ/南極	61-62	—
	アメリカ合衆国	63-64	—
	北アメリカ州の資料(1)(2)(3)	65-69	—
	大西洋	70	—
	南アメリカ州	71	—
	南アメリカ州の資料(1)(2)	72-74	—
	太平洋・インド洋	75-76	—
	オーストラリア・ニュージーランド	77-78	—
	オセアニア州の資料	79-80	—
日本のページ	日本列島(1)(2)	81-84	—
	九州地方の資料(1)沖縄県/沖縄島/那覇市中心部	85-86	14, 22, 24
	九州地方	87-88	—
	九州地方北部	89-90	—
	九州地方の資料(2)/福岡市中心部	91-92	—
	瀬戸内海周辺の歴史	93-94	15-18
	中国地方/広島市中心部	95-96	1, 7-8, 14, 37
	四国地方	97-98	—
	瀬戸内海周辺	99-100	—

ページ	おもな内容	地図帳ページ	本資料での掲載ページ	
日本のページ	中国・四国地方の資料	101-102	—	
	近畿地方	103-104	43	
	近畿地方中部	105-106	—	
	大阪湾周辺の地形	107-108	—	
	近畿地方の歴史・文化・観光/神戸市中心部	109-110	21-22, 24	
	大阪市中心部/江戸時代の大阪	111-112	—	
	奈良市中心部/斑鳩町付近/明日香村付近/京都市中心部	113-114	—	
	近畿地方の資料	115-116	27, 39	
	本州中央部と五街道	117-118	19-20, 32	
	中部地方	119-120	—	
	中部地方南部	121-122	—	
	名古屋市とそのまわり	123	—	
	中部地方の資料(1)(2)/名古屋市中心部	124-126	—	
	福井県・石川県・富山県/新潟県/新潟市とそのまわり	127-128	—	
	関東地方	129-130	—	
	関東地方南部	131-132	9-12	
	東京都周辺の地形	133-134	—	
	東京都の中心部/江戸/霞が関	135-136	16, 23-24, 26	
	関東地方の資料(1)(2)/横浜市中心部	137-140	34	
	東北地方の資料/仙台市中心部	141-142	—	
	東北地方/仙台市とそのまわり	143-145	—	
	北海道地方南部	146-148	—	
	北海道地方北部/札幌市とそのまわり/札幌市中心部	149-150	—	
	北海道地方	151-152	14	
	北海道地方の資料	153-154	—	
	使い方・資料のページ	日本の地形/日本の気候	155-158	—
		日本の自然災害・防災(1)(2)	159-162	31-34
世界と日本の人口		163-164	—	
世界と日本の鉱産資源		165-166	—	
日本の工業		167-168	—	
日本の農業・水産業		169-170	—	
世界と日本の交通・観光		171-172	—	
日本の歴史・生活・文化		173-174	—	
自然の統計		175-176	—	
統計のページ	世界の統計(1)(2)	177-180	—	
	日本の統計(1)(2)	181-183	—	
	さくいんのページ	184-194	—	
日本のページ	国土地理院の地形図	195	—	
	都道府県と昔の国名	196	43	
	日本の領土とそのまわりの国々	197-198	13-14	

『中学校社会科地図』著作権関係者

※所属・肩書きは令和6(2024)年3月時点のもの

監修者

金坂清則 京都大学名誉教授

別記著作者

荒井良雄 東京大学名誉教授

岩本廣美 奈良教育大学名誉教授

太田弘 慶應義塾普通部元教諭

梶田真 東京大学教授

小谷恵津子 玉川大学教授

小原文明 法政大学教授

佐藤洋 東洋大学京北中学高等学校教諭

澤田康徳 東京学芸大学准教授

椎名光弘 神奈川県厚木市立依知中学校教諭

須貝俊彦 東京大学教授

立石昌文 福岡県公立中学校元教諭

田部俊充 日本女子大学教授

寺本潔 東京成徳大学特任教授

編集委員

宇野彰人 東京都公立中学校元校長

濱野清 兵庫教育大学教授

編集協力者

青柳敬二 埼玉県さいたま市立日進中学校教諭

赤星信太郎 静岡県静岡市立清水飯田中学校教諭

須藤由子 東北生活文化大学高等学校教諭

三浦博英 青森県外ヶ浜町立蟹田中学校教諭

村木龍太郎 東京都立桜修館中等教育学校教諭

特別支援教育に関する監修・校閲者

柏倉秀克 桜花学園大学教授

丹治達義 筑波大学附属視覚特別支援学校教諭

防災教育に関する監修・校閲者

矢守克也 京都大学教授

中学校 社会科Webのご案内

中学校社会科Webは
こちら



<https://www.teikokushoin.co.jp/jhs/>

帝国書院 中学校 検索

帝国書院 中学校社会科教科書のご案内

教科書 QRコンテンツ 教師用指導書 デジタル教科書・教材 Teikoku LABO

社会科で
未来を拓く

令和7（2025）年度以降用
教科書のご案内

地図帳	地理	歴史	公民
詳しく見る	詳しく見る	詳しく見る	詳しく見る

帝国書院の新しい教科書と、関連する教材をご紹介します。

令和7(2025)年度版 **内容解説資料**

部分サンプル



〒101-0051
東京都千代田区神田神保町3-29
TEL 03-3262-4795(代)
URL <https://www.teikokushoin.co.jp/>
©Teikoku-Shoin Co.,Ltd.2024

本資料に掲載している内容は、一部変更となる場合があります。
本資料は、環境にやさしい再生紙・植物油インキを使用しています。
本資料の無断転載・複製を禁じます。